

船員保險特別會計法案特別委員會會議事速記録第二號

昭和十五年三月十二日(火曜日)午前十時  
八分開會

○委員長(侯爵大隈信常君) 是ヨリ會議ヲ  
開キマス、前回ニ續イテ御質問ガアリマシ  
タラドウゾ御願ヒ致シマス

○子爵秋元春朝君 大分澤山ノ參考書ヲ頂  
戴致シマシタガ、此ノ中一二詳シク御説明  
ヲ願フコトガ出來マスマイカ

○政府委員(佐藤基君) 便宜上船員保險特  
別會計組織案圖解ト云フ圖表ガアリマスガ、  
ソレヲ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス、船員保  
險ハ内地ノ者ト外地ノ被保險者トアリマス  
ノデ、先ヅ内地ノ被保險者ニ付テハドウ云  
フ風ナ特別會計ノ金ノ動キニナリマスカト  
云フコトヲ申上ゲマスルト云フト、内地ノ  
被保險者即チ一番右ノ方ニ書イテアルノデ  
アリマスガ、内地ノ被保險者ハ保險料ヲ毎  
月拂ヒマシテ、其ノ拂ツタ保險料ハ船員保險  
特別會計ノ歳入トシテ入ッテ來ル譯デアリマ  
ス、サウシテ其ノ内地ノ被保險者ニ對シテ  
保險事故ガ起ツタ、例ヘバ疾病デアルトカ或  
ハ又老齡ニ對シテ年金ヲ拂フト云フヤウナ  
場合ニハ内地ノ被保險者ニ保險給付ヲスル、  
ソコデ其ノ場合ハ船員保險特別會計カラ歳  
出トシテ保險金ヲ内地ノ被保險者ニ拂ツテ  
ヤル、是ガ普通ノ行キ方デアリマス、其ノ  
他尙船員保險特別會計ノ圖表ノ下ノ方ニ一  
般會計トノ關係ノコトガ書イテアリマス  
ガ、是ハ船員保險法第五十八條ノ規定ニ依ッ  
テ國庫ガ保險料ノ一部ヲ負擔スルコトニナッ  
テ居ル譯デアリマス、其ノ負擔ハ船員保險

ノ事業經營ニ要スル所謂事務費ノ分ト、ソ  
レカラ所謂長期給付ト申シマスカ、年金等  
ニ對シマシテハ其ノ保險給付ノ五分ノ一ヲ  
負擔スルト云フコトヲ五十八條ノ規定シテ  
居ル譯デアリマス、其ノ國庫負擔金ト云フ  
モノハ一般會計カラ船員保險特別會計ニ繰  
入レマシテ、サウシテ其ノ保險給付ニ合ハ  
シテ被保險者ニ拂フト云フコトニナル譯デ  
アリマス、是ガ大體内地ノ關係デアリマス、  
ソレカラ外地ノ關係デアリマスガ、ソコニ  
(甲)外地被保險者トアリマスガ、例ヘバ朝鮮  
ノ例ヲ採リ申シマス、朝鮮ニ船籍ヲ有ス  
ル船舶ニ乗ッテ居ル船員ガ朝鮮ノ被保險者  
ニナル譯デアリマスガ、其ノ者ニ付テハド  
ウ云フ風ナ金ノ動キガ起ルカト申シマス、  
其ノ朝鮮ノ被保險者ハ毎月保險料ヲ拂フ、  
其ノ保險料ハ朝鮮總督府特別會計ノ歳入ニ  
ナル譯デアリマス、サウシテ是ガ朝鮮總督  
府特別會計ニ入ッテ來マス、其ノ朝鮮總督  
府特別會計ハ其ノ金ヲ船員保險特別會計ノ  
方ヘ繰入レル譯デアリマス、其ノ(甲)ノ外地  
特別會計ト船員保險特別會計トノ關係ニ於  
テ線ガ六本アリマスガ、上カラ四本目ニ保  
險料調定濟歳入額ト云フノガ今申シタノデ  
アリマシテ、保險料ノ調定ヲシマシテ其ノ  
額ニ相當スル額ヲ朝鮮總督府特別會計カラ  
船員保險特別會計ヘ繰入レマス、其ノ他朝  
鮮總督府特別會計カラ更ニ船員保險特別會  
計ヘ繰入レル額トシテハ其ノ次ニ書イテア  
ル勅令ヲ以テ定ムル收入金、勅令ヲ以テ定ム  
ル收入金ト申シマスルノハ備考ノ二ニ書イ

テアリマス、本表中「勅令ヲ以テ定ムル收入  
金」左ノ如シ(一)官業共濟組合ヨリ外地特別  
會計ニ繰入ルベキ積立金、是ハドウ云フ場  
合カト申シマス、朝鮮ノ官業共濟組合ニ  
入ッテ居ル船員ガ朝鮮ニ船籍港ヲ有スル船  
船員ニナツタ、即チ官業共濟組合ノ被保險者  
ガソレ以外ノ被保險者ニナツタ譯デアリマス、  
サウスルト其ノ官業共濟組合ニ於テ其ノ人  
ニ將來年金等ヲ拂フ爲ニ積立テタ金デア  
ル譯デアリマスカラ、其ノ金ヲ朝鮮總督府特  
別會計ニ繰入レル譯デアリマス、其ノ繰入レ  
タ金ハ之ヲ更ニ船員保險特別會計ニ朝鮮總  
督府特別會計カラ繰入レマシテ、船員保險特  
別會計ニ於テ管理運用スルト云フ譯デアリマ  
ス、ソレガ勅令ヲ以テ定ムル收入金ノ一ツ  
例デアリマス、ソレカラ最後ノ内地ニ於テ支拂  
ヒタル長期給付費中外地ノ分擔スベキ國庫  
負擔金、是ハドウ云フコトカト申シマス  
云フト、朝鮮ニ居ツタ船員ガ今度ハ内地ノ  
船員ニ變ッテ來タ、サウシテ内地ノ年金ヲ  
貫ツタト云フヤウナ場合デ、其ノ年金等ノ給  
付ニ付キマシテハ先程申シマシタ通り、船  
員保險法第五十八條ニ依リマシテ五分ノ一  
ヲ國庫ガ負擔スルト云フコトニナツテ居ル  
ノデアリマス、ソコデ其ノ五分ノ一ノ額ハ  
今ノ場合デ申シマス、其ノ被保險者ガ朝  
鮮ノ被保險者デアリ、後ニ内地ノ被保險者  
デアツタト云フコトデアリマス、一定ノ  
割合ニ依リマシテ、國庫負擔金ヲ朝鮮總督  
府特別會計ト内地ノ一般會計デ分擔スル、  
其ノ朝鮮總督府特別會計ノ分擔ニナル額ヲ

朝鮮總督府特別會計カラ船員保險特別會計  
ヘ繰入レテ、サウシテ保險給付トシテ内地被  
保險者ニ拂ツテヤル、サウフコトニナル譯  
デアリマス、是ガ外地ニ入ツタ歳入ヲ内地ニ  
繰入レル關係ノ場合デアリマス、次ニ内地  
ノ會計カラ外地ニ繰入レテ、サウシテ場合  
ニ依ッテハ外地ノ會計カラ外地被保險者ニ  
拂ツテヤルト云フ場合ノ御説明ヲ致シマス、  
先ヅ外地ノ特別會計、朝鮮總督府特別會計  
ト朝鮮ノ被保險者ノ關係デ申シマス、朝  
鮮ノ被保險者ガ負擔シタトカ、死ンダト  
カ、或ハ老齡ニ達シテ年金ヲ貰フトカ云フ  
場合ニハ朝鮮總督府ノ特別會計カラ保險給  
付トシテ其ノ朝鮮ノ被保險者ニ拂ツテヤル  
譯デアリマス、是ガ甲ノ保險給付ト云フ所  
デアリマス、其ノ場合ニ其ノ財源ト云フモ  
ノハ大部分ガ船員保險特別會計ニアルノデ  
アリマス、船員保險特別會計ト外地特別會  
計ノ交渉ニ關スル上ノ三本ノ線ガアリマス  
ガ、其ノ順次ニ申上ゲマス、短期給付ニ  
付テハ、短期給付ト申シマス、例ヘバ負傷  
シタトカ、疾病ニ罹ツタト云フ場合デアリマ  
スガ、朝鮮ノ被保險者ガ負傷シ、又ハ疾病  
ニ罹ツタト云フ場合ニ於テハ、船員保險ノ關  
係デ給付シテヤル場合ガアル、其ノ場合ニ  
ハ朝鮮ノ會計カラ現實ノ給付ヲスルノデア  
リマスガ、其ノ財源ト云フモノハ船員保險  
特別會計カラ朝鮮總督府特別會計ニ繰入レ  
ル譯デアリマス、是ガ短期給付デアリマス、  
ソレカラ保險事故ノ中老齡廢疾ト云フヤウ  
ナ所謂長期給付トフヤウナモノニ付テハ、

五分ノ四ニ相當スル部分ヲ保險料トシテ被保險者カラ徵收スルノデ、其ノ五分ノ四ニ相當スル額ヲ外地特別會計カラ船員保險特別會計ニ繰入レテ居ルノデ、現實ニ給付ガ始メ場合ニハ、其ノ長期給付ノ五分ノ四ニ相當スル額ヲ船員保險特別會計カラ外地特別會計ニ繰入レ、残りノ五分ノ一ト云フモノハ外地特別會計ノ負擔ニナリマスカラ、ソレトヲ加ヘマシテ五分ノ五ニシテ朝鮮ノ被保險者ニ拂ツテヤル、ソレガ第二ノ場合デアリマス、第三ノ場合、勅令ヲ以テ定ムル支出金、是ハ備考ニ書イテ居リマスガ、備考ノ一ニ、本表中「勅令ヲ以テ定ムル支出金」左ノ如シ、外地特別會計ヨリ官業共濟組合ニ繰入レタル積立金、是ハ例ヘバ朝鮮ノ船ニ乗ツテ居ル被保險者ガ共濟組合ニ入ッテヤウナ場合ニハ、其ノ者ノ爲ニ將來ノ長期給付ノ關係上積立テタル額ガアリマスカラ、其ノ積立金ヲ其ノ官業共濟組合ニ繰入レテヤル必要ガアル、サウ云フ場合ニ船員保險特別會計デ資金ハ管理シテ參リマスカラ、船員保險特別會計カラ其ノ積立金ニ相當スル額ヲ外地ノ特別會計ニ繰入レル、其ノ外地ノ特別會計カラ外地ノ被保險者ノ今度入ッテ所ノ官業共濟組合ニ支出シテヤル、サウ云フ關係デアリマス、次ニ外地相互間ノ關係デアリマスガ、甲ト乙、例ヘバ朝鮮ト臺灣ト云フヤウナ場合デアリマスガ、臺灣デ給付スル場合内地トノ關涉ニ關シテハ今述ベタ通りデアリマスガ、臺灣ト朝鮮トノ關係ガ此處ニ書イテアル甲ト乙ノ關係ニナル譯デアリマス、乙地會計ニ於テ支拂ヒタル長期給付中甲地會計ニ於テ負擔スベキ國庫負擔金、是ハ先程申シマス通り長期給付ニ付テハ國庫ハ五分ノ一ヲ負擔ス

ルト云フコトヲ認メテ居ル、其ノ國庫ト云フノハ内地ニ於テハ一般會計デアリ、外地ニ於テハ各外地ノ特別會計、朝鮮ニ於テハ朝鮮總督府特別會計、臺灣ニ於テハ臺灣總督府特別會計デ五分ノ一ヲ負擔スル譯デアリマス、ソコデ朝鮮ニ船籍港有スル船ニ乗ツテ居タ船員ガ、數年朝鮮デ勤メタ後臺灣ニ船籍港有スル船舶ニ乗り込ンダ、サウシテ其ノ人ガ養老年金ヲ貰フニ必要ナ期間ヲ勤メテ止シタ、サウ云フ場合ガ此處ニ書イテアル場合デアリマシテ、其ノ場合ニ其ノ者ニ對シマシテ五分ノ一ノ國庫負擔金ガアルノデアリマスガ、其ノ負擔ハ朝鮮ト臺灣トデ分擔スル、ソコデ其ノ被保險者ガ最後ニ臺灣ノ被保險者トシテ止シタノデアリマスカラ、臺灣ノ會計カラ出シテヤル、併シナガラ朝鮮ニ於テモ負擔スル部分ガアルノデアリマスカラ、其ノ部分ハ朝鮮ノ會計カラ臺灣ノ會計ニ繰入レマシテ、サウシテ合算シテ五分ノ一ニ相當スル額ガ出來マス、ソレヲ合セテ年金トシテ拂ツテヤル、サウ云フ場合ノコトヲ書イテアルノデアリマス、ソレカラ又其ノ下ノ場合ハ今ノ逆ノ場合デアリマシテ、朝鮮ノ被保險者トシテ止シテ、サウシテ年金ヲ貰フ、處ガ其ノ人ハ以前臺灣ノ被保險者デアッタト云フヤウナ場合ハ、逆ニ臺灣ノ會計ニ於テ負擔スベキ部分ガアリマスカラ、其ノ部分ヲ朝鮮ノ會計ニ繰入レマシテ、サウシテ兩會計デ合セテ即チ長期給付ノ五分ノ一ニ相當スル額ヲ加ヘテ、朝鮮ノ會計カラ保險給付トシテ被保險者ニ拂ツテヤル、斯ウ云フ譯デアリマス、ソレカラ尙一般會計ト外地特別會計トノ關係ノコトガ表ノ極ク下ノ方ニ書イテアリマス、外地ニ於テ支拂ヒタル長期給付中内地ノ分擔ス

ベキ國庫負擔金ト云フ、是ハ今朝鮮ト臺灣ノ例ニ付テ申シマシタガ、ソレト同ジヤウニ内地ト朝鮮或ハ内地ト臺灣ノ場合デアリマシテ、内地ノ被保險者デアッタ人ガ、後ニ朝鮮ノ被保險者ニナッタ、即チ内地在籍船ニ乗ツテ居タ船員ガ朝鮮在籍船ニ乗ツタ、サウシテ前後ノ期間ヲ通ジテ年金ヲ貰フニ必要ナ期間ヲ勤メテ止シタ、サウ云フ場合ニハ國庫ハ五分ノ一ヲ負擔スル、其ノ負擔ハ内地ノ關係ノ部分ハ一般會計デ負擔スル、朝鮮ノ關係ノ部分ハ朝鮮總督府特別會計デ負擔スル、其ノ年金ガ朝鮮總督府特別會計カラ支拂ハレル關係上、内地ノ負擔スベキ部分ハ一般會計カラ朝鮮總督府特別會計ニ繰入レテ、サウシテソレヲ合セテ朝鮮ノ被保險者ヲ止シタ者ニ年金トシテ拂フ、圖表ノ大體ノ説明ハソレ位ニシテ置キマス

○子爵秋元春朝君 餘程詳シイ説明ヲ伺ヒマシテヨク分リマシタガ、サウシマス甲ナラ甲ト云フ保險金ヲ掛ケル人ガ内地ニキキタ者ト、ソレカラ又外地ノ甲ナリ乙ナリニ行ッテ時ニ、一ツ處ニズツ居ルナラバ問題ハナイノデスケレドモ、内地ニ長ク居リ、又甲地ニ少シクキタト云フ場合ハ何處ガ基點ニナリマスカ、一番長ク居ッテ處ヲ基準トシテ各特別會計ノ繰入負擔金ヲ廻シテ行クト云フヤウナ關係ニナリマスカ、ソコハドウナリマスカ

○政府委員(佐藤基君) 今ノ場合問題ハ國庫負擔金ガ問題ニナルヤウニ思ハレルノデアリマスガ、國庫負擔金以外ノ關係ニ於テ、積立金ハ全部船員保險特別會計デ管理シテ居リマスカラ、船員保險特別會計カラ直接出スカ、或ハ外地ノ特別會計ヲ經由シテ出スカト云フダケノ問題デアリマシテ、問題ハ此ノ國庫負擔金ノ問題デアリマスガ、ソレニ付キマシテハ參考書類トシテ差上ゲマシタ書類ノ中ニアルト思ヒマスガ、船員保險事業ノ經營ニ伴フ關係各會計間ノ分擔及關涉ニ關スル法律案ニ關スル勅令案要綱第一條關係、是ガ今ノ問題ニナル譯デアリマス、即チ船員保險ノ被保險者ガ内地在籍船ニ乗ツテ居ッタ、ソレガ朝鮮在籍船ニ移ッタ、或ハ臺灣在籍船ニ移ッタ、何處デモ移レル譯デアリマスガ、サウ云フ場合ニ國庫負擔金ヲドウ云フ割合デ負擔スルカト云フ問題デアリマス、其ノ負擔割合ハ此處ニ書イテアリマス、或ハ非常ニ讀ミニクイカト思ヒマスガ、其ノ人ガ保險料ヲ拂フ、サウシテ其ノ保險料ヲ拂ツタ其ノ保險料ハ長期ノ關係ノ部分ハ年三分五厘ノ利子ヲ運用スル譯デアリマス、ソコデ其ノ場合ニ國庫負擔金ト云フノハ年金ノ五分ノ一ダケヲ負擔スルノデアリマスカラ、其ノ五分ノ一ヲ如何ニ分ツカト云フ問題、如何ニ分擔スルカト云フ問題デアリマス、其ノ分擔ノ標準ハ其ノ者ノ拂込ンダ保險料ト、其ノ當該保險料ノ關係ニ於テ何年間運用サレタカ、保險料及之ニ對スル利子ノ合算額ヲ基礎ト致シマシテ、内地ノ關係ノ部分、朝鮮ノ關係ノ部分、臺灣ノ關係ノ部分ト云フコトヲ計算致シマシテ、ソレニ按分シテ國庫負擔金ヲ決メル、例ヘバ内地ガ五デアリ、朝鮮ガ三デアリ、臺灣ガ一デアルト云フ場合ニハ五分ノ一ノ負擔金ノ割合ハ内地ガ五負擔シ、朝鮮ノ特別會計カラハ三負擔シ、臺灣ノ特別會計カラハ一負擔スルト云フ風ナ割合ニ決メル、サウ云フ趣旨デアリマス

○男爵深尾隆太郎君 保險料ハ總テ船員保險特別會計ニ外地ノ部分モ入ッテ來ルノデ

スカラ、其ノ保險料ヲ運用シテ利益ヲ得ル  
ト云フコトハ船員保險特別會計ノミガヤッ  
テ居ルノデ、外地ノ特別會計ハソレニチツト  
モ觸レテ居ラヌヤウニ思フノデスガ、サウ  
スルト一般會計カラノ五分ノ一ノ補助ヲス  
ルノニ、何モ資金ヲ運用シタモノニ比例ス  
ルコトモ何モナイ、比例スレバ内地船員保  
險一本便宜イヤウニ思フノデスガ、ソコガ  
ドウ云フ基礎デ此ノ五分ノ一ヲ内地ノ一般  
會計ト外地ノ特別會計ガ分擔スルカ、細カ  
ク書イテアリマスケレドモ、ソコノ大體ノ  
趣旨ヲチヨット伺ヒタイ

○政府委員(佐藤基君) チヨット例ヲ舉  
テ申シマスト、例ヘバ年金ヲ五百圓拂フ、  
保險給付トシテ五百圓出スト云フ場合ニ付  
テ申シマスト云フト其ノ中四百圓ト云フモ  
ノハ保險料收入及之ニ對スル運用ノ利益ト  
申シマスカ、即チ四百圓ハ積立金カラ拂フ  
譯デアツテ、殘ノ百圓ト云フモノガ國庫負擔  
金トシテ拂ハレルト云フ譯ニナルノデアリ  
マス、其ノ四百圓ニ付テ申シマスト云フト、  
例ヘバ其ノ人ガ十五年間被保險者デアツタ、  
サウスルト其ノ中朝鮮デ五年間、内地デ  
十年間ト云フヤウナ場合デアリマスカ、サ  
ウスルト内地デ初メ十年間居ツテ、朝鮮デ後五  
年間居ツタト云フコトニナリマスト、内地ノ十  
年間ノ保險料ヲ拂ツテ居リマス、而モ其ノ保險  
料ノ内將來ノ年金ノ財源トナルベキ部分ガ  
アリマスカ、其ノ部分ハ最初ニ第一年ニ拂ハ  
レタモノハ船員保險特別會計ニ於テ十五年  
間運用サレル、第二年目ノモノハ十四年間運  
用サレル、第三年目ノモノハ十三年間運用サ  
レルト云フコトニナリマシテ、保險料トソ  
レニ對スル運用ノ利子、豫定利廻ト申シマ  
スカ、豫定利ト申シマスカ、三分五厘ノ複

利ガ附ク譯デアリマス、朝鮮ノ分ニ於キマ  
シテハ最後ノ五年間ヲ朝鮮デ五年間保險料  
ヲ拂ツテ、其ノ保險料ハ矢張り船員保險特別  
會計ニ入ツテ來ル、朝鮮ノ第一年ノ分ヲ申シ  
マスト、朝鮮ノ五年間ノ第一年ノ場合ニ於  
キマシテハ、其ノ保險料ハ船員保險特別會  
計ニ入ツテ來マシテ、保險料トソレノ運用ニ  
對スル五年間ノ利子ト云フコトニナリマス、  
第二年目ニ付キマシテハ四年間ノ利子ト云  
フコトニナリマス、サウ云フ風ニ合算シテ  
年金ノ中ノ五分ノ四ニ該當スル今ノ五百圓  
ノ例デ申シマスト、四百圓ノ年金ニナル部  
分デアリマス、其ノ四百圓ノ年金ニナル部  
分ハ、内地ノ十年間ト朝鮮ノ五年間ノ保險料  
ト年金支拂開始時期、或ハ其ノ後ノ運用利子  
ト云フコトヲ考ヘルト云フコトニナルノデ  
アリマス、ソコデ五分ノ一ノ國庫負擔金ヲ  
朝鮮ト内地デドウ云フ風ニ負擔シタラ宜イ  
カ、是ハ色々ナ方法ガアリマスカ、簡單ニ  
言ヘバ内地ニ十年居ツテ、朝鮮ニ五年居ルト  
スルト内地ガ十五分ノ十、朝鮮ガ十五分ノ  
五ト云フ風ニ負擔スルコトモ出來ル譯デア  
リマス、ソレガケレドモ、四百圓ノ年金  
ト云フモノハ單ニ保險料ノミデハナシニ、  
保險料ト運用利子ト云フモノガアルノデア  
リマス、而モ此ノ期間ガ非常ニ長イモノデ  
スカラ運用利子ハ相當高マツテ來ルノデス、  
ソコデ内地デ十年間居ツテ拂ツタ保險料ト、  
ソレニ對スル運用利子ノ合算額、ソレガ幾  
ラニナリマスカ、ソレト朝鮮デ拂ツタ保險料  
ト、其ノ五年間ノ運用利子ト云フモノノ合  
算額、之ヲ標準ニ朝鮮ト内地ノ會計ガ分擔  
スルノガ一番適當デアラウ、サウ云フ風ニ  
考ヘテ、之ニ書イテアル譯デアリマス

○男爵深尾隆太郎君 今ノ運用利子ハ全部  
是ハ船員保險特別會計ニ入ツテ來ルノデア  
ルカラ、朝鮮總督府特別會計ハ何等之ニ對  
スル利益モ何モ得テ居ラヌヤウニ考ヘマス、  
四百圓ニ對シテ朝鮮デ五年、内地デ十年居  
ルトソレニ對スル掛金ガ入ル、其ノ掛金ハ  
皆船員保險特別會計ニ入ツテ來テ居テ、船  
員保險特別會計デ運用シテ、サウシテ其ノ  
結果五分ノ四ハ返シテヤル、斯ウ云フコト  
デスカラ、其ノ資金ノ運用ノ利益ト云フモ  
ノハ全部船員保險特別會計ガ持ツテ居ル譯  
デスカラ、後ノ百圓ノ國庫負擔ト云フモノ  
ハ、マア是ハ内地一般會計カラ出セバ一番  
簡單ニ濟ムヤウニモ思フノデスガ、ソレガ  
何カノ工合デ行カナイトスレバ、是ハ先程  
御話ノ朝鮮デ五年、内地デ十年位デ分ケル  
ト云フモノモ一ツノ標準カトモ思フノデ  
スガ、其ノ上ニ運用シテ利子ヲ得タカラド  
ウ斯ウト云フ御話デスガ、是ハチツトモ朝鮮  
總督府特別會計ハ利子ノ恩典ニハ浴シテ居  
ラナイ、全部船員保險特別會計ガ其ノ利益  
ヲ得テ居ルヤウニ思フノデス、ソレヲ此ノ  
分擔ノ一ツノ基礎ニ置カレルト云フ理窟ガ  
チヨット分ラヌノデス

○政府委員(佐藤基君) 船員保險特別會計  
ニ朝鮮ノ保險料ヲ繰入レルカラシテ利益ヲ受  
ケルノハ船員保險特別會計ニ利益ガアツ  
テ、朝鮮總督府ニハ利益ガナイト云フ御話  
デアリマスカ、其ノ點ヲ分リ易ク御説明ス  
ル爲ニ簡單ナ例ヲ申シマスト、朝鮮ノミニ  
居ツタ場合ガ一番簡單ト思ヒマスカ、朝鮮ノ  
ミニ居ツタ場合、朝鮮デ十五年勤メテ罷メタ  
ト云フ場合ニ付キマシテハ、朝鮮デ十五年  
間保險料ヲ拂ツテ、其ノ保險料ヲ船員保險特  
別會計ニ繰入レテ、船員保險特別會計デ之  
ヲ大體三分五厘ニ運用スル、保險金ヲ拂フ

場合ニハ其ノ保險料ト三分五厘ノ運用ノ利  
子ト、ソレヲ合算シタモノヲ基礎トシテ、  
ソレヲ朝鮮總督府特別會計ニ拂ツテヤツテ、  
ソレヲ年金トシテ拂フ譯デアリマスカラ、  
朝鮮總督府ガ自ラ運用スル代リニ船員保險  
特別會計ニ合同運用ヲ頼ムト云フ譯デアリ  
マスカラ、ソコデ朝鮮總督府特別會計ノ見  
地ニ於テモ、保險料ト之ニ對スル利子ト云  
フモノガアル譯デアリマスカラ、朝鮮總督  
府特別會計ト云フモノニ利益ガ生ジナイト  
云フノデハナイト云フ積リデ居ルノデアリ  
マス

○男爵深尾隆太郎君 チヨット分リマセヌ  
ガ、後デ又伺ヒマス

○大橋八郎君 チヨット勅令ノ説明ノ所デ  
アリマスカラ關聯シタモノデ御聽キシタイ、  
此ノ勅令要綱ノ保險給付ノ額ヲ決定シタル  
年度ト云フコトガアリマスカ、是ハ保險事  
故ガ發生シタル年度ト云フコトデゴザイマ  
スカ

○政府委員(佐藤基君) 大體サウ云フコト  
ニナリマス

○大橋八郎君 サウ致シマスト、年金ニ付  
キマシテハ面倒ナ計算ヲ毎年々々ヤリ替ヘ  
ナケレバナラヌコトニナル譯デスカ、分擔  
金ニ付テハ……

○政府委員(佐藤基君) 保險給付ノ額ハ例  
ヘバ年金ヲ百圓トスルト、五百圓ト云フコ  
トヲ決メマスカラ一度決メレバ……同ジ年  
金ヲ拂ツテ居リマスカラ、負擔ノ割合ハ一度  
決メレバ宜イト思ヒマス

○大橋八郎君 併シ此ノ利息ヲ計算セラレ  
ルコトニナリマスト、經過年月ノ年々加ツテ  
行クニ從ツテ、其ノ割合ガ變ツテ來ルト云フ  
頭デ、ソコニ計算シテ居ラルノデハナイカ

ト思フノデスガ、只今深尾男爵ノ御質疑ノ問題ニ對スル御答等カラ考ヘマスト……サウスルト年々其ノ割合ガ變テ來ルト云フヤウナコトハナイノデスカ

○政府委員(佐藤基君) 保險給付ノ額ヲ決定シタル年度ニ至ル經過年數ニ應ジテ決メルノデスカラ、此ノ書キ方ハ少シ曖昧カト

思ヒマスガ、具體的ニ當該保險給付、澤山保險給付ガアリマスガ、甲ノ人ニ對スル年金モアル、乙ノ人ニ對スル年金モアル、丙ノ人ニ對スル年金モアル、ソコデ甲ノ人ニ對スル年金ニ付テハ、甲ノ年金額ヲ決定シタ年度、其ノ年度迄ノ經過年數ヲ分擔割ガ決リマスカラ、一人々々ノ被保險者ヲ押ヘレバ宜イ、但シ澤山ノ被保險者ガアル場合ハ、年金給付ガ毎年始マル時期ニハ總額ニ於テハ毎年相當アリマスガ、或個人ヲ一度押ヘレバ宜イト思フテ居リマス

○大橋八郎君 只今ノ御説明デ能ク分ツタノデスガ、此處ニ書イテアル文句ノ、保險給付ノ額ヲ決定シタル年度ト云フノハ、仰セ

ノ通りダト思ヒマスガ、併シナガラ此處ニ書イテアル事柄ノ内容カラ考ヘテ見マスト云フト、年金ト云フモノハ將來年々續イテ給付スルト致シマスト、同ジ額ヲ拂フニ致シマシテモ、其ノ内容ニナル何ト申シマスカ掛金竝ニ之ニ對シテ年々運用サレテ來ル三分五厘ノ利息、ソレノ額ハ年々變テ來ルノデハナイノデセウカ、從ッテ之ノ考ヘ方カラ行クト、最初ノ給付ヲ決定シタル年度ダテラ一遍決メレバソレガ全部公平ダト云フコトガ言ヘルカドウカ、公平ナ見地カラ言ヘバ年々之ヲヤリ替ヘテ行カナケレバナラヌデヤナイカ、但シ是ハ手數ガ面倒ダカラ斯ウ云フ風ニ決メテ置クノダ、斯ウ仰シヤ

ルノナラバ、ソレモ結構ト思ヒマスガ、例ノ複利計算ノ利息迄入レテ負擔金ヲ決定スルノダト云フト、其ノ細カイ微妙ナ點モ考ヘテ分擔金ヲ考ヘルト云フト、其ノ考ヘ方デハ年々計算シテ行カナケレバ公平ナ計算ニナラスノデヤナイカト云フ氣ガ致シマシガ……

○政府委員(佐藤基君) 其ノ分擔割合ヲ決メルト云フコトハ成ルベク公平ニシタイ、同時ニ又手續ヲ簡單ニシタイト云フ二ツノ要求ニ依ッテ決メタノデアリマス、ソコデ公平ト云フコトヲ主ニ致シマシレバ、御話ノ通り其ノ方ガ宜イダラウト思ヒマス、併シナガラサウ致シマスト殊ニ年金ノ給付ガ澤山始ツタヤウナ場合ニハ非常ニ手數ガ掛リマスカラ、手數ノ關係デ或程度ノ理論上ノ公平ヲ犠牲ニ致シマシテ、一遍決メタラソレデヤツテ行カウト云フノデアリマス、或ハ手數ノ關係カラ言ヘバ、モット簡單ニ先程申シタ通り朝鮮デ五年、内地デ十年ト云フヤウナ場合ハ二ト一ノ割合デ宜イノデアリマスガ、ソレヨリハモウ少シ公平ニト云フ風ナ關係デ決メタ譯デアリマス

○大橋八郎君 能ク御話ハ分リマシタ、チヨット此ノ問題ニ關聯シタ問題デアリマスカ

ラ序ニ一ツ御伺ヒシタイト思ヒマスガ、此ノ船員保險事業ノ經營ニ伴フ關係各會計間ノ分擔及關涉ニ關スル法律案ノ第一條ニ依リマスト、是ハ主トシテ養老年金並癱疾年金ニ對スル國庫負擔金、其ノ國庫負擔金ハ被保險者及船主カラ徵收シマス保險料、其ノ保險料ト一緒ニ國庫負擔金ヲ出サナイデ、保險事故ノ發生シタ後ニ、詰リ保險給付ヲ支拂フ際ニ初メテ負擔金ヲ支出スルト

云フ建前カラ第一條ガ出來テ居ルヤウデアリマス、此ノヤリ方ニ依リマスト後ノ年度ニナル程段々支出ガ殖エテ來テ、非常ニ大キナ額ニナルノデヤナイカト思ハレルノデアリマス、從ッテ後年度ノ財政上ノ負擔ガ非常ニ重クナルト云フ結果ニナルノデヤナイカト思フノデアリマス、保險ノ制度ノ元來ノ趣旨カラ言ヒマスレバ、年々均一シタ保險料ヲ取ツテ負擔ノ平均化ヲ圖ツテ行クト云フ所ニ保險ノ妙味ガアルノデヤナイカト

思フノデアリマス、國庫負擔金ニ付テモ保險料ノ一部ヲ國庫負擔スルト云フ性質ノモノデアリマスカラ、矢張り船主及船員ハ一緒ニ年々金ヲ支出シテ行クト云フコトニスベキノガ本質デハナイカト思フノデアリマス、此ノ只今規定サレテ居リマスト國庫負擔金ノヤリ方ハ保險ノ性質カラ考ヘマスト、大分懸ケ離レタ考ヘ方ニナツテ居ルヤウニ思フノデアリマス、何方外國ノ社會保險等ニモ斯クノ如キ負擔金ヲ後デ支拂フ時ニ計算シテ出スト云フヤリ方ガアルノデアリマスカ、ドウデゴザイマスカ、或ハ日本獨特ノ是ハ一ツノ新シイ試ミト云フコトデアリマスカ、ドウデセウカ、其ノ點ヲ一ツ御伺ヒシタイ、又手數ノ上カラ考ヘマシテ

モ年々之ヲ出シテ置キマスレバ、後ニナツテ斯ウ云フ面倒ナ計算ヲシテ、各特別會計間ニ分擔金ノ計算ヲスルト云フヤウナコト

ナシニ濟ム筈ダト思ヒマス、最初ニ保險料ヲ取ル時ニ其ノ五分ノ一ヲ國庫カラ分擔金ヲ出シテ置ケバ利子ノ計算トカ、何トカラシナクテモ濟ム譯デアリマス、從ッテ斯ウ云フ面倒ナ分擔金ノ問題ハ起ラナイト思フ、分擔金ノ計算ノ問題ハ少クトモ起ラスト思フ、制度トシテハ隨分面倒ナ制度ヲ持ヘタコト

ニナリハセヌカト思ヒマス、其ノ點ハ如何デスカ

○政府委員(佐藤基君) 御話ノ通り此ノ國庫ノ負擔金ト云フモノハ結局國庫ガ保險料ヲ毎年々々拂フト云フ方法ニ依ルカ、或ハ又此ノ案ニアルヤウニ一番後デ纏メテ拂フカト云フ問題ニ關聯スルノデアリマスガ、保

險ノ本質トシテハ、船主トソレカラ船員ト國庫ト云フ者ガ毎年一定ノ保險料ヲ拂ツテ行クト云フコトガ寧ロ普通ノヤリ方ト思フノデアリマス、サウ云フコトニナリマシレバ此ノ國庫負擔金モ今申シマシタ例デ、内地デ被保險者デ十年居リ、朝鮮デ五年居リト云フヤウナ場合ニハ、初メノ十年ニ對シテハ内地ノ一般會計カラ五分ノ一ノ基礎ニナル額ヲ船員保險特別會計ニ繰入レ、後ノ五年ニ付キマシテハ朝鮮ノ特別會計カラ五分ノ一ニ該當スル額ヲ繰入レル、ソレデ現實ニ支拂フ時ハ五分ノ五トシテ簡單ニヤツテ行クノデ、斯ウ云フ問題ハ起ラヌ譯デアリマス、ソコデ斯ウ云フ問題ガ起ルト云フコトハ、結局國庫ノ負擔スベキ保險料ガ他ノ船員ナリ、船主ト同ジヤウニ毎年保險料ヲ拂ハナイデ、サウシテ最後ニ保險給付ヲスル場合ニ拂フト云フ方法ヲ執ツタト云フコトニ基ク譯デアリマス、ソコデ何故ニサウ

云フ方法ヲ執ツタカト云フコトニナル譯デアリマスガ、國庫負擔金ヲ拂フト云フコト

ニナリマスト云フト、直ガ歳出ガ起ル、併シナガラ毎年歳出ヲシマスカラ年金ノ支拂時期ニナルト、例ヘバ會計的ニ申シマスト三十年、五十年後ニ年金ノ支拂ガ本格的ニ始ルト申シタ方ガ宜イカト思ヒマスガ、サウ云フ時ノ負擔ハ此ノ原案ニ依ルト現在ヨリハ相當重クナル、毎年保險料ヲ拂ッ

テ居レバ長期間ニ互ツテ比較的國庫負擔ノ均衡ヲ得ルト云フコトニナルノデス、處ガ御承知ノ通り現在ノ財政ト云フモノガ公債財源ニ依ル部分ガ非常ニ多イノデアリマス、ソコデ假ニ形式的ニ國庫ガ毎年保險料ヲ拂フト云フ方法ヲ執リマシテモ、現在ノ財政狀態カラ言ヘバ、ソレガ直接タルト或ハ間接ニナルカモ知レマセヌガ、矢張り公債財源ニ依ルモノト考ヘルノガ適當デヤナイカト思フ譯デアリマス、サウ致シマスト其ノ公債財源ニ依ルト云フコトニナルト、其ノ負擔ハ矢張り公債ノ償還支拂ト云フ後世ノ負擔ニナルノデアリテ、其ノ關係ニ於テハ國庫ガ毎年保險料ヲ拂ツテモ、或ハ又現實ニ保險給付ヲスルト云フ時ニ五分ノ一ヲ分擔シテモ、現在ノ財政狀態、之ヲ基礎ニシテ考ヘルナラバ大シタ差ハナイノデアリマス、ナイノミナラズ差向キ其ノ保險料支拂限度ニ於テ公債ノ發行ヲ減ズルコトガ出來ル、勿論此ノ額ハ極メテ僅カナモノト思ヒマスガ、少クトモ成ルベク現在公債ヲ發行スルコトヲ少クシヨウト云フ財政ノ現狀デアリマスカラ、ソレニ即應シテ斯ウ云フ制度ヲ作ツテデアリマス、モウ一ツノ問題ハ船主デアルトカ、或ハ船員ト云フモノノ保險料ニ付キマシテハ國家ト違ヒマシテ其ノ信用ガ違フ、國家ハ永久ナ存在デアリマシテ、信用ハ絶大デアル、處ガ船主ハ景氣ノ好イ場合モアリ、惡イ場合モアル、或ハ又ドウ云フ關係破産シナイトモ限ラヌ、船員ニ付キマシテモ經濟ノ豊カナ場合モアルシ豊カナイ場合モアリ、拂ヘナクナル場合モナイトハ限ラヌ、サウ云フ關係デ、經濟的ノ信用、財政的ノ信用ト云フモノガ、國家ト船主、船員トハ概括的ニ非常ニ違フ、斯

ウ云フ關係デ國家ハ財政的ノ信用ガ絶大デアル、而シテ又現在ノ公債政策ノ狀態カラ見マシテ成ルベク公債財源ニ依ラナイデ、即チ公債發行額ヲ減ラシタイト云フ二ツノ希望カラ行ツテ譯デアリマス、例ヘバ官吏ノ恩給ニ付キマシテモ同様デアリマシテ、官吏ノ恩給ヲ拂フト云フ場合ニ、其ノ恩給ノ原子ニナルベキ金ヲ國庫ガ毎年積立テテ置イテ、其ノ中カラ拂フト云フコトモ一ツノ方法デアリシ、或ハ現實ニ官吏ノ恩給ガ支拂開始ニナツテカラ、其ノ時ニ現實ニ歳出ガ起ル時ニ國ノ歳出デ拂フト云フコトモ一ツノ方法デアリ、其ノ官吏ノ方法ト同ジヤウナ制度ニ依ツテ譯デアリマス

○子爵松平忠壽君 今ノ質問ニチヨット關聯シマシテ……此ノ一番後ニ別表ト云フノガ此ノ間戴イタノニ附イテ居ルノデスカ、是ノ率ヲ出サレタ根據ハドウ云フコトデスカ

○政府委員(佐藤基君) 是ハ要スルニ保險デアリマシテ、保險料ニ拂ツテ、將來年金ヲ拂フノデアリマスカラシテ、其ノ爲ニ積立金ヲシテ置ク、其ノ積立金ヲ一體幾ラノ利廻ニ廻スカト云フ問題ニナルノデアリマス、ソコデ現在ノ他ノ制度ト或ハ金利等カラ考ヘマシテ、年三分五厘ト云フモノヲ基礎ニシタ譯デアリマス、ソコデ三分五厘ヲ基礎ニシマシテ、一年目ニハ三分五厘、二年目ニハ七分一厘二毛ト云フモノニナツテ居リマス

○大橋八郎君 此ノ船員保險法ハ朝鮮、臺灣ニ施行セラレ、又關東州ニ施行セラレルト云フコトヲ前提トシテ居ラレルヤウデアリマス、此ノ施行又ハ準用スル勅令ハ出タノデアリマスカ、マダ出ナイノデスカ

○政府委員(佐藤基君) 朝鮮及臺灣ニ施行スル勅令ハ昭和十五年二月二十三日ノ官報ニ勅令第六十五號トシテ出テ居リマス、ソレカラ關東州ノ關係ニ於キマシテモ、船員保險令ト云フノガ勅令六十七號トシテ同日ニ公布サレテ居リマス

○大橋八郎君 外地ノ規定、樺太ト南洋ハ是ハ施行サレナイ御積リナノデゴザイマセウカ、又施行スルコトガ出來ナイ何カ理由デモアルノデゴザイマセウカ

○政府委員(佐藤基君) 是ハ結局別個ノ船員法或ハ船員法令ト云フモノガアルコトヲ前提トシテ、其ノ船員法又ハ是ト實質ヲ同ジウスル所ノ船員法規ノアル所ニ施行スレバ宜イト云フコトニナツテ居リマシテ、樺太ト南洋ハ現在マダアリマセヌ、將來樺太、南洋ニ出來レバ又其ノ時ニ考ヘルト云フコトニナル譯デアリマス

○宇佐美勝夫君 今御話ニナリマシタ勅令ハ此ノ七十一條ニアル勅令デスカ

○政府委員(佐藤基君) 七十一條ニアル譯デアリマス、之ニ依リマシテ、施行ニ關スル必要ナル規定ヲ設ケタ譯デアリマス

○宇佐美勝夫君 附則ニアリマス本法施行ノ期日ト云フノハドウ云フコトヲ意味スルノデスカ

○政府委員(佐藤基君) 本法ノ附則ハ、此ノ法律ヲ内地ニ施行スル場合ヲ先考ヘテ居タ譯デアリマス、併シナガラ先程申シマシタヤウニ、朝鮮、臺灣ニモ施行セラレル、朝鮮、臺灣ニ施行スルト申シマスノハ、要スルニ法律ハ本來ハ内地ヲ目當ニスルノガ原則デアリマスカラ、其ノ法律ノ法域ヲ臺灣、朝鮮ニ擴張スルト云フ意味デアリマス、附則ニ書イテアルノハ法律ヲ具體的ニ發動

サシテ行クト云フ意味デアリマス、此ノ附則ニ書イテアル本法施行ノ期日ハ、保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ニ其ノ他ノ規定ニ付各別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ムト致シマシテ、此ノ法律ノ保險給付ヲヤル、即チ全面的ニ此ノ法律ヲ動かスハ大體本年ノ六月カラノ積リデアリマス、其ノ規定ハ、其ノ前ニ三月一日カラ施行シマシテ、此ノ制度ノ運用スル場合ノ準備ノ期間トシテ居ル譯デアリマス

○大橋八郎君 船員保險特別會計法ノ第一條第一項ノ書キ方デスカ、此ノ書キ方ト、現在同時ニ政府カラ提案セラレテ、他ノ委員會ニ於テ目下審議中ニナツテ居リマス、職員健康保險特別會計法案ノ第一條ノ書キ方トハ書キ方ガ違ツテ居リマスガ、是ハ何カ意味ガ違フノデアリマセウカ、職員健康保險法ノ第一條ノ書キ方ハ斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、職員健康保險事業ヲ經營スル爲特別會計ヲ設置シ其ノ歳入ヲ以テ其ノ歳出ニ充ツトアリマス、船員保險特別會計ノ方ハ「船員健康事業ノ會計ハ之ヲ特別トシ其ノ歳入ヲ以テ其ノ歳出ニ充ツ」ト書キ方ガ違フノデアリマスカ、是ハ何カ意味ガ違フノデアリマスカ、全ク同ジデアリマスカ

○政府委員(前田克己君) 特別會計法ノ第一條ニ於テ特別會計ヲ設置致シマス目的ハ大體特別會計ヲ設置スルト云フ言ヒ方ニ付キマシテハ只今御指摘ニナリマシタ他ニモ三通リ四通リノ書キ方ガアルノデゴザイマス、ソレデ特別會計法ヲ新タニ作りマス時ニハ其ノ特別會計ノ性質ト、更ニ言ヒ現サウトスル所ノ意味ノ表現ニ一番都合ノ好イ字句ヲ捉ヘテヤツテ居リマスルノデ、ドウ云フキ方ダトドウ云フ意味ト云フ程ノ強イ意味

ウ云フ關係デ國家ハ財政的ノ信用ガ絶大デアル、而シテ又現在ノ公債政策ノ狀態カラ見マシテ成ルベク公債財源ニ依ラナイデ、即チ公債發行額ヲ減ラシタイト云フ二ツノ希望カラ行ツテ譯デアリマス、例ヘバ官吏ノ恩給ニ付キマシテモ同様デアリマシテ、官吏ノ恩給ヲ拂フト云フ場合ニ、其ノ恩給ノ原子ニナルベキ金ヲ國庫ガ毎年積立テテ置イテ、其ノ中カラ拂フト云フコトモ一ツノ方法デアリシ、或ハ現實ニ官吏ノ恩給ガ支拂開始ニナツテカラ、其ノ時ニ現實ニ歳出ガ起ル時ニ國ノ歳出デ拂フト云フコトモ一ツノ方法デアリ、其ノ官吏ノ方法ト同ジヤウナ制度ニ依ツテ譯デアリマス

○子爵松平忠壽君 今ノ質問ニチヨット關聯シマシテ……此ノ一番後ニ別表ト云フノガ此ノ間戴イタノニ附イテ居ルノデスカ、是ノ率ヲ出サレタ根據ハドウ云フコトデスカ

○政府委員(佐藤基君) 是ハ要スルニ保險デアリマシテ、保險料ニ拂ツテ、將來年金ヲ拂フノデアリマスカラシテ、其ノ爲ニ積立金ヲシテ置ク、其ノ積立金ヲ一體幾ラノ利廻ニ廻スカト云フ問題ニナルノデアリマス、ソコデ現在ノ他ノ制度ト或ハ金利等カラ考ヘマシテ、年三分五厘ト云フモノヲ基礎ニシタ譯デアリマス、ソコデ三分五厘ヲ基礎ニシマシテ、一年目ニハ三分五厘、二年目ニハ七分一厘二毛ト云フモノニナツテ居リマス

○大橋八郎君 此ノ船員保險法ハ朝鮮、臺灣ニ施行セラレ、又關東州ニ施行セラレルト云フコトヲ前提トシテ居ラレルヤウデアリマス、此ノ施行又ハ準用スル勅令ハ出タノデアリマスカ、マダ出ナイノデスカ

サシテ行クト云フ意味デアリマス、此ノ附則ニ書イテアル本法施行ノ期日ハ、保險給付及費用ノ負擔ニ關スル規定ニ其ノ他ノ規定ニ付各別ニ勅令ヲ以テ之ヲ定ムト致シマシテ、此ノ法律ノ保險給付ヲヤル、即チ全面的ニ此ノ法律ヲ動かスハ大體本年ノ六月カラノ積リデアリマス、其ノ規定ハ、其ノ前ニ三月一日カラ施行シマシテ、此ノ制度ノ運用スル場合ノ準備ノ期間トシテ居ル譯デアリマス

○大橋八郎君 船員保險特別會計法ノ第一條第一項ノ書キ方デスカ、此ノ書キ方ト、現在同時ニ政府カラ提案セラレテ、他ノ委員會ニ於テ目下審議中ニナツテ居リマス、職員健康保險特別會計法案ノ第一條ノ書キ方トハ書キ方ガ違ツテ居リマスガ、是ハ何カ意味ガ違フノデアリマセウカ、職員健康保險法ノ第一條ノ書キ方ハ斯ウ云フ風ニナツテ居リマス、職員健康保險事業ヲ經營スル爲特別會計ヲ設置シ其ノ歳入ヲ以テ其ノ歳出ニ充ツトアリマス、船員保險特別會計ノ方ハ「船員健康事業ノ會計ハ之ヲ特別トシ其ノ歳入ヲ以テ其ノ歳出ニ充ツ」ト書キ方ガ違フノデアリマスカ、全ク同ジデアリマスカ

○政府委員(前田克己君) 特別會計法ノ第一條ニ於テ特別會計ヲ設置致シマス目的ハ大體特別會計ヲ設置スルト云フ言ヒ方ニ付キマシテハ只今御指摘ニナリマシタ他ニモ三通リ四通リノ書キ方ガアルノデゴザイマス、ソレデ特別會計法ヲ新タニ作りマス時ニハ其ノ特別會計ノ性質ト、更ニ言ヒ現サウトスル所ノ意味ノ表現ニ一番都合ノ好イ字句ヲ捉ヘテヤツテ居リマスルノデ、ドウ云フキ方ダトドウ云フ意味ト云フ程ノ強イ意味

ハナイノデアリマス、色々古ク出来タ特別會計法モゴザイマスルシ、又新シク出来マシタ會計法ガアリマスノデ、自ラ其ノ當時ニ於キマスル法制的ナ言ヒ廻シト云フモノモ、時代ニ依ッテ變遷ガゴザイマスノデ、斯様ニ作ッテ參ルノデゴザイマシテ、此ノ職員ト船員ニ付キマシテノ差別ト云フノモ、唯左様ナ意味合ヒカラ少シク言葉ノ言ヒ廻シガ違ヒマシタダケデ、特別ノ意味ハゴザイマセヌ

○大橋八郎君 書キ方ガ時代ニ依ッテ違フノハ無論サウダト思フノデスガ、同ジ議會ニ出サレタ法律案ガエライ書キ方ガ違フノデ、或ハ何カ特別ノ御趣旨ガアルノカト思フタノデス、例ヘバ職員健康保險法ノ方デハ、事實ヲ經營スル爲ト云フ言葉ヲ特ニ使ッテ居ルノデスガ、船員保險事業ノ方デハ其ノ言葉ガ無イノミデスカラ、經營ト云フコトニ何カ特殊ノ意味デモアルノデヤナイカト云フ風ニ想像サレタノデスガ、サウ云フ意味ハナイノデスカ

○政府委員(前田克巳君) 是ハ打明ケタ所ヲ申上ゲマスト、此ノ前ノ委員會デ色々御尋ガゴザイマシタヤウニ、外地トノ關係ニ於キマシテ、船員保險特別會計ヲ作りマス時ニ非常ニムツカシイ問題ヲ生ジマシタノデゴザイマシテ、外地ノ綜合行政ニ抵觸スルヤウナ法律ノ構成ヲヤリタクナイシ、又ヤッテ貫ツテハ困ルト云フ外地側ノ強イ御希望ガゴザイマシタノデ、船員保險事業ヲ經營スル爲ト云ヒマスルト、ソレガ全外地ニ互チ一ツノ特別會計トシテ行ハレト云フヤウナ風ニ讀マレル處ガアリマシタノデ、經營スルト云フ文句ヲ避ケタノデゴザイマス

ルト云フ只今政府委員ノ御説明ノヤウナ趣旨ニヤルノデセウカ、ドウモ私共考ヘテ見テ、經營ト云フ言葉ガ有ルト無イトニ依ッテ、サウ云フ意味ノ相違ガ生ズルモノノヤウニ思ハレナイノデスガ、私ハ單純ナ感じノ意味ト本當ノ意味ハ變ラナイケレドモ、個々ノ聞イタ感じガ如何ニモ何カ統一スルヤウニ見エルカライカヌト云フ位ノ輕イ意味カモ知レマセヌガ、ソウデナシニ、法律的ニ何カサウ云フ差別ガ生ズルノデセウカ

○政府委員(前田克巳君) 只今申上ゲマシタヤウニ特別會計法トシテモ餘リ體裁ヲ失セズ、又外地ノ方モ色々法律上ノ疑問ヲ起サナイヤウナ何カウマイ書キ方ガナイカト云フコトヲ色々研究致シマシテ、當時第一條ノ書キ方ニモ二十五通り位ノ案ガ出タノデアリマシテ、其ノ中一番無難ナモノヲ採リマシタノデ、斯ウ云フコトニナリマシタノデゴザイマス、仰セノ如ク斯ウ書イテモ又經營ト書イタ所デ、サウ法律的ニ畫然タル差別ヲ生ズルモノトモ考ヘテ居リマセヌ

○大橋八郎君 甚ダ細カキ字句ノ問題ヲ最初カラ質問シテ恐縮デアリマスガ、チヨット此ノ一條ノ意味ヲ幾ラカハッキリサセル爲ニ其ノ前提トシテ必要ダト思フノデ、甚ダ恐縮デスガ、字句ノコトヲ一二質問シタイト思ヒマス、此ノ一條ノ第二項ノ「關東州、朝鮮及臺灣ニ於ケル船員保險ノ事業ノ歳入歳出」斯ウナツテ居リマス、第一項ノ書キ出シハ「船員保險事業ノ會計」斯ウナツテ居ル、單純ナ一字デアリマスケレドモ「船員保險ノ事業」ト「船員保險事業」ト續ケテアルノト何カ非常ニ違フ意味ガアルノデアリマセウカ、是ハ同ジ意味デアリマスカ

ハナイヤウニ思ヒマス

○大橋八郎君 矢張り此ノ第二項ノ「關東州、朝鮮及臺灣ニ於テ爲サルル當該地域以外ノ地域ニ於ケル船員保險ノ事業」此ノ意味ハドウ云フノデスカ、チヨット私分リ兼ネタノデアリマスガ、ドウ云フ意味デゴザイマセウ

○政府委員(前田克巳君) 是ハ御手許ニ配付サレテ居リマスル事務ノ共助ニ關スル勅令ト云フノガゴザイマスルガ、此ノ共助ノ仕事ノコトヲ云ツタ積リデゴザイマス

スカ、爲サル、ト云フコトハ現實ニ爲サルル方デ、保險ト云フ方ガ經營スルト云フ趣旨デスカ、サウ了解シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(佐藤基君) サウ云フ意味デゴザイマス、是ハ例ヘバ關東州ノ例ヲ取ッテ申シマス、關東州ニ於テ爲サル、給付デアル、併シナガラ其ノ給付ノ實體ハ關東州以外ノ地域ニ於ケル船員、例ヘバ内地ナリ朝鮮ナリ、サウ云フモノノ給付ヲ關東州デヤツテ居ルト云フ、サウ云フ場合デゴザイマス、其ノ關東州デヤツテ居ルト云フコトハ要スルニ、事務ノ共助ト云フコトヲ前提トシテ居ル譯デアリマス

○大橋八郎君 歳出ノ場合ハサウデスガ、サウ云フ意味ノ歳入ノ場合ハアリマスカ

○政府委員(佐藤基君) 例ヘバ保險給付トシテ金ヲ拂フ、年金ヲ拂フトカ、例ヘバ療養費ヲ一定額拂フト云フヤウナ場合ニ、其ノ額以上拂ツタ、ソコデ返納ノ命ズルト云フヤウナ場合ハ、御話ノ一ツノ例ニナル譯デアリマス

○大橋八郎君 第一條ニ付テ尙チヨット伺ヒタイノデゴザイマスガ、此ノ第一條ノ第一項ト 二項ヲ斯ウ竝ベテ讀ンデ見マスト、船員保險ノ事業ト云フモノハ、内外地通ジテ一丸トシテ經營スルノガ原則デアアルケレドモ、關東州、朝鮮、臺灣ニ付キマシテハ第二項ノ規定ヲ作ッテ、船員保險事業ノ歳入歳出ヲソレノノ外地ノ特別會計ニ屬セシメテ、獨立ノ經營ヲ爲サシメルト云フヤウナ形ヲ取ツタヤウニ解釋セラル、ノデアリマス、此ノ點ハドウデゴザイマセウカ、例ヘバ第二項ノ「前項ノ規定ニ拘ラズ勅令ノ定ムル所ニ依リ」云々斯ウ書イテアル所

カラ見マスルト云フト、本則ハ總テ是ハ一  
丸トシテ經營スルノダケレドモ、此ノ第二  
項ノ規定ニ依ッテ特ニ獨立ノ經營ヲサセル  
ト云フヤウナ形ヲ取ツタ、斯ウ云フ風ニ此ノ  
條文ノ上カラ解釋サレルノデアリマスガ、  
其ノ點ハ如何デゴザイマス、若シ左様デア  
ルトシマス、折角船員保險ヲ内地地一丸  
トシテ經營スルヤウニ出來得ルモノヲ、態々  
第二項ノ規定ヲ作ッテ、此ノ原則迄モ破ルヤ  
ウナ形ニナツテ居ルト云フコトニ付テノ理由  
ハ何處ニアルカ、此ノ間中カラ色々承リマ  
スト、外地ノ綜合行政ト云フ理論カラ出發  
シテ居ルヤウデアリマスガ、其ノ理論ダケ  
ノ理由デアリマセウカ、外ニマダ實質的ノ  
理由ガアルノデアリマセウカ

○政府委員(佐藤基君) 此ノ法文ヲ見マス  
ト云フト、御話ノ通り第一條ニハ船員保險  
事業トアリマシテ、内地トモ外地トモ書イ  
テナイ、ソコデ此ノ船員保險事業ハ、日本  
デヤル船員保險事業ハ皆入ルト云フヤウニ  
考ヘラレル、ソコデ其ノ例外ト致シマシ  
テ、外地關係ハ外地別々ニ會計ヲ立テ  
ト云フコトヲ書イテアリマス、ソレデ外地  
デサウ云フコトヲシナクテモ宜イデヤナイ  
カ、ドウ云フ譯デスルカト云フ御話デアリ  
マスガ、是ハ前回ニモ申上ゲマシタ通り、  
外地ノ綜合行政權ト云フコト、内地カラノ  
獨立性ト云フコトヲ大キナ理由ト致シマシ  
テ、而モ積立金ノ運用ト云フコトハ、危險  
分散ノ見地カラ各地別々ニヤルト云フコ  
トハ面白クナイ、ソコデ内地ニ綜合スル、  
其ノ二ツノ要求カラ出來タ譯デアリマス  
○大橋八郎君 保險事業ト云フモノガ被保  
險者ノ範圍ガ廣クバ廣イ程確實デアリ、  
基礎ガ固イト云フコトハ當然デアリ、又範

圍ガ狭クバ狭イ程非常ニ其ノ經營ガ困難  
デアリ、危險ニナル譯デアリマス、内地ノ  
被保險者ハ先日御話ヲ承リマシテモ、十一  
萬五千アル、外地ハ全部デ一萬ニ足ラナイ、  
之ヲ三ツノ外地ニ分ケマスルト云フト極メ  
テ僅カナ數ニナルノデヤナイカト思フノデ  
アリマス、サウ云フ少數ノ被保險者ヲ對照  
トシテ保險ヲ經營スルト云フコトハ非常ニ  
困難ナコトデアリマス、殊ニ此ノ船員保險  
ニハ長キ將來ニ繼續スル養老年金トカ、或  
ハ廢疾年金トカ云フヤウナモノ迄モ含メテ  
ヤツテ居ルノデアリマスカラ、斯ウ云フ少數  
ノ被保險者ヲ對象トシテ獨立ノ保險ヲ經營  
スルト云フコトハ非常ニ困難デアアルコトハ  
申ス迄モナイノデアリマス、各外地地獨立  
ノ船員保險ヲ經營スルト云フコトハ事實ニ  
於テ殆ド不可能デアラウト思ハレルノデア  
リマス、ソコデ現ニ此ノ法律ニ現ハレテ居  
ルヤウニ、特別會計法ノ第一條ノ第二項デ  
ハ、關東州、朝鮮、臺灣ノ外地ノ船員保險ハ  
第一項ノ規定ニ拘ラズソレノ外地ノ特  
別會計ニ所屬セシメルト云フコトニ規定致  
シマシテ、獨立シタヤウナ形ハ取ツテ居ルモ  
ノ、別ニ船員保險事業ノ經營ニ伴フ關係  
各會計間ノ分擔及關涉ニ關スル法律ト云フ  
別ノ法律ヲ作りマシテ、事實ハ全ク船員保  
險特別會計法ノ中ニ包含セラレテ居ルノデ  
アリマス、先程政府委員ヨリ圖解ニ依ッテ御  
説明ヲ戴イタノデアリマスガ、要スルニ外  
地デ取ツタ保險料ハ全部一旦外地ノ收入ニ  
立テマスケレドモ、其ノ儘ソツクリ之ヲ又  
特別會計ノ方ニ繰入レル、又外地地支拂フ  
ベキ保險給付ト云フモノノ類ハ、外地ニ於  
テ負擔スベキ年金ニ對スル五分ノ一ノ政府  
負擔金ヲ除クノ外ハ、全部特別會計カラ外

地ノ特別會計ノ歳入トシテ之ヲ繰入レテ、  
而シテ之ヲ其ノ儘又其ノ特別會計ノ保險給  
付トシテ歳出トシテ拂フト云フコトニナツ  
テ居ルノデアリマシテ、要スルニ歳入モ歳  
出モ皆外地ノ特別會計ノ所屬トハ言ヒナガ  
ラ、全クハ通抜ケニ過ギナイヤウニ思フ  
ノデアリマス、其ノ點ハ如何ナモノデセウ  
カ、ドウモ私ハ通抜ケトシカ考ヘラレナイ  
ノデスガ

○政府委員(佐藤基君) 會計の見地ニ於テ  
申シマス、大體通抜ケト云フテ差支ナイト  
思ヒマス、唯多少例外トシテ考ヘルノハ、  
前ニ圖表デモ申シマシタガ、歳入ノ關係ニ  
於テ保險料調停濟歳入額ト云フモノヲ外地  
ノ特別會計カラ船員保險特別會計ヘ繰入レ  
ル、ソコデ保險料ノ例ヘバ百圓ナラ百圓ト  
云フ保險料ヲ調停シタ、處ガソレガ不能缺  
損ニナツタ、入ツテ來ナカッタト云フヤウナ場  
合ニハ、外地ノ特別會計ニ取レナカッタ場合  
ハ取レナクテモ尙且其ノ保險料ハ調停濟ガ  
百圓デアレバ、ソレヲ船員保險特別會計ニ  
繰入レル、サウスルト其ノ損失ト云フモノ  
ハ外地ノ特別會計デ負擔スルト云フヤウナ  
場合ガアルカラ、正確ニ單純ナル通抜勘定  
ト云フコトハチヨット言兼ネルヤウナ氣モ  
シマスガ、大體ニ於テ通抜勘定ト云フコト  
ハ御話ノ通りダト思ヒマス

○大橋八郎君 只今御話ノヤウニ、金ノ出  
納若シクハ歳入ノ調停ニ關聯スル極ク末梢  
的ノ一部分ニ付テハ成ル程責任ヲ負フノカ  
モ知レマセスケレドモ、之ヲ保險經營的ニ  
考ヘマスルト云フト、ソレハホンノ一部分  
ノ末梢的ナモノデ、本體ハ結局通抜ケノ形  
ニナツテ居ルノデヤナイカト思フ、船員保險  
ノ特別會計デ直接全部ノ仕事ヲヤルコトニ

ナリマス、非常ニ簡單ニ行キ又明瞭デア  
ルニモ拘ハラズ、無理ニ各外地デヤルヤウ  
ナ、形ヲ整ヘル爲ニ態々一遍外地ノ特別會  
計ニ入レテ之ヲ通抜ケサセヨウトスルガ爲  
ニ、其ノ爲ニ態々別ノ法律迄拵ヘテ非常ナ面  
倒ナ關涉ノ手續ヲ取ラレルト云フコトニナ  
ルノデアリマシテ、今日ノ事務簡捷ヲヤラ  
ウト云フ世ノ中ニハ、實ニ不似合ナ法律ジ  
ヤナイカト云フヤウナ氣ガスルノデアリマ  
ス、斯ンナ面倒ナ手續ヲヤラナケレバナラ  
ヌ本當ノ必要ナ意味ナント云フコトハチ  
ヨット理解出來兼ネルノデアリマスガ、成ル  
程外地ノ統治上綜合行政ヲヤルト云フコト  
ハ非常ニ必要ナコトデアラウト思フノデア  
リマス、併シ本件ノ場合ヲ考ヘテ見マス  
ト、誠ニ意味ノ乏シイ事柄ノヤウニ考ヘ  
ル、外地ノ特殊事情ト云フコトハ寧ろ必要  
ナコトデアリマシテ、之ヲ認メナケレバ心  
ナラスト思フノデアリマス、從ッテ原則ト  
シテ綜合行政ヲ主張サレルト云フコトニ於  
テハ是ハ相當理由ガアルト思フ、併シ本件  
ノヤウナ場合ニ綜合行政ノ見地カラ各外地  
トソレノ内地ト分レテ獨立ニ船員保險ヲ  
經營シテヤラウト云フコトニシテモ、之ヲ  
ヤル必要モ、利益モ非常ニ乏シイデヤナイ  
カ、又事實ニ於テ出來ナイ、非常ニ被保險  
者ノ數ガ少イノデアリマスカラ事實ニ於テ  
出來ナイノデアリマス、其ノコトハ今ノ關  
涉ニ關スル法律案ノ内容ガ最モ明瞭ニ示シ  
テ居ルノデアリマス、外地ノ特別會計ニ所  
屬サセルト云フコトハ、單ニ形ダケノ通抜  
ケ勘定デアリマシテ、其ノヤウナ場合迄モ  
綜合行政ノ建前ニ因ハレテ、餘リ意味ノナ  
イヤウナ手續ヲ掛ケルト云フヤウナコトハ、  
隨分不必要デヤナイカト考ヘラレルノデア

リマス、若シ船員保險ヲ外地ニ施行スルト云フコトガマダ早イトカ、或ハ外地ノ特殊ノ事情ニ於テ不適當トカ、或ハ或點ニ付テハ此ノ儘施行スルコトハ出來ナイカラ、何方特殊ノ違ツタ仕組ナリ内容ノ制度ヲ立テナケレバナラスト云フコトニナリマス、是ハ實質問題デアリマシテ、相當研究ノ餘地ガアルカモ知レマセヌ、又サウ云フコトニ付テ必ず劃一的ニ内地ト同一ニヤラナケレバナラスト主張スル必要モナイト思ヒマス、併シ其ノ方ハ問題デアナイ、同ジ法律ノ同ジ内容ノモノヲ施行スルト云フコトハ何等異論ハナイ、唯外地ノ船員ト、内地ノ船員ト同一ノ特別會計ノ下ニ一團トシテ經營スルト云フコトガイケナイト云フコトハ、ドウモ意味ガ乏シイデヤナイカト思フ、是ガ同一ノ保險會社ノ事業トシテヤリ、或ハ保險組合ノ仕事トシテヤルト云フコトト何所ニソナ違ヒガアルカ、ドウモチヨット理解シ兼ネル、ドウモ外地内地ノ船員ヲ一緒ニ一ツノ會計ノ下ニヤルト云フコトガ統治上何カ惡イト云フ特殊ノ事情デモアルノデアリマスガ、チヨット其ノ邊ガ分リ兼ネルノデアリマスガ

イト云フ希望、此ノ二ツノ或ル意味ニ於テ矛盾スル希望ヲ如何ニスレバ折衷出來ルカト云フコトデアリマシテ、其ノ結果ハ斯ウ云フ案ガ出來タノデアリマス、船員保險ノ事業ノミノ見地カラ云ヘバ、内地ヲ區別シナイデ一ツニヤッタ方ガ宜イト云フ意見ガアリ、又ソレガ最モ良イ意見ダト思ハレルノデアリマスガ、又地方カラ申シマスト云フト、内地ノ綜合行政權、殊ニ朝鮮ノ綜合行政權ト云フモノハ、現在ノ法制ニ於キマシテモ殆ド例外ガナイ、極ク若干ノ、例ヘバ學位令ニ於キマシテ、學位ニ付テハ文部大臣ノ權限ガ向フニ及ンデ居ルトカ、或ハ又金融行政ノ一部ニ付キマシテ、實質的ニ申シマスト云フト、朝鮮銀行ト云フモノガ大藏大臣ノ監督ニナッテ居ルト云フヤウナ、極ク僅ナ例外ガアルダケデアリマシテ、外地ノ、詰リ朝鮮ノ行政權ノ獨立性、綜合性ト云フモノハ、沿革上ナカナカ動カスコトハ困難デアル、マアサウ云フ關係ガアリマシテ、一方ニ於テ船員保險事業ハ、内地地ヲ一體トシテヤッテ行キタイト云フ希望ト二ツノ主張ヲ折衷致シマシテ、實質上ハ事業ハ一ツニナルヤウニナル、殊ニ船員ノ立場ニ於テハ、同ジ給付金ヲ何處ヘ行ツテモ貫ヘルト云フ希望ヲ以テヤル、同時ニ朝鮮、臺灣、關東州ニ於キマシテハ、其ノ給付ヲスルト云フト、即チ社會保險ト云フモノハ自分ノ所デヤッテ居ルト云フ形式ヲ殘スト云フコトニ於テ、二ツノ相對立スル思想ヲ或程度ノ満足……勿論兩方トモ不満足デアリマスガ……或ル程度ノ満足ヲ與ヘテ此ノ制度ヲ作ツタ、サウ云フ沿革ガアルノデ、御話ノ通り船員保險事業ノ見地カラ云フト如何ニモオカシイト云フ風ナ結果ニ

ナリ、サウ考ヘラレルノハ御尤ダト云フ風ニ思フノデアリマス

○大橋八郎君 此ノ船員保險ノ建前カラ行キマスト云フト一切ノ保險ノ「リスク」ハ、内地ヲ通ジテ船員保險ノ特別會計ノ負擔シテ居ルト云フ風ニ私共ハ考ヘルノデアリマスガ、此ノ點ハ政府委員ハドウ御考ヘニナリマスカ、申ス迄モナク保險ノ本質ト云フノハ、危險負擔、危險ヲ誰ガ負擔スルカト云フコトガマア本質ニナラナケレバナラスト思フノデアリマス、危險負擔ノ責任ノナイ經營主體ト云フコトハ想像モ出來ナイノデアリカト思フ、デ、本案ノ場合ヲ考ヘテ見マスルト云フト、保險給付ニ對スル將來ノ危險負擔責任ト云フモノハ、全部特別會計ガ負擔テ、成程外地ノ特別會計ヲ通ジテ支拂ハシマスケレドモ、其ノ本質的ノ責任負擔ト云フモノハ全部之ヲ船員保險特別會計ガ負擔ト云フコトハ、是ハハッキリシテ居ルト考ヘルノデアリマス、サウ致シマスト結局之ヲ保險的ニ考ヘマスト云フト、内地ノ區別ナク船員保險ト云フモノハ一團ニ船員保險特別會計ノ中デ經營サレテ居ルモノダ、斯ウ云フ風ニ思フノデアリマスガ、此ノ點ノ解釋ニ付テ、政府委員ハドウ考ヘテ居ラレマスカ

計ガ負擔スルノデアリマスカラシテ、内地ガ事業主體デアアル、事業經營ノ見地カラ、殊ニ計算ノ見地カラ申シマスルト内地ガ主體デアアルコトハ申ス迄モナイ、唯此ノ前ニ申上ゲタ通り、保險給付ヲシテヤル、船員ノ立場カラ保險給付ヲシテ貰ウト云フトキ、何處カラ給付ヲシテ貰フカト云フト、朝鮮ノ船員ハ朝鮮總督府ノ特別會計カラ給付ヲシテ貰フノデアリマスカラ、其ノ朝鮮總督府ノ特別會計ナルモノガ、給付スル財源ヲ船員保險特別會計ヘ入レテ居ルノカ、或ハ別ナ方法デヤッテ居ルノカト云フコトハ、是ハ朝鮮ノ船員ニハ直接關係ハナイト云フ風ナ關係ニ於テ、社會保險トシテハ朝鮮或ハ關東州、臺灣ガヤッテ居ルト云フ風ナ形式ヲ採テ居ル、茲ガ即チ綜合行政權ヲ尊重シテ居ル所以下ト云フコトニナルノデアリマス、事業經營ノ見地カラ危險負擔ノ主體ハ何處ニ在ルカト云ヘバ御話ノ通り船員保險特別會計デアリマス

○大橋八郎君 モウ大體御趣旨ハ能ク分リマシタ、要スルニ結局考ヘ方ガ違フ、是レ以上ハ申シマセヌ、議論ニナリマスカラ止メマス、ソレカラ外ノ事ヲ一ツ伺ヒタイ、此ノ特別會計法ノ第六條、此ノ第六條ハ積立金ノ運用ハ國債デ保有スルカ、大藏省ノ預金部ニ預ケルカ二ツノ方法以外ニハ運用シテ相成ラスト云フ斯ウ云フ規定ト思ハレルガ、左様デアリマスカ

○政府委員(佐藤基君) 御話ノ通りデゴザイマス

○大橋八郎君 之ヲ二ツノ方法ニ限ツタ理由ハ何處ニアリマスカ、モウ少シ廣ク運用ヲ認メタ方ガ、此ノ會計トシテノ基礎ヲ固メル上ニ於テ宜インダト思ヒマスガ、此ノ

二ツノ方法ニ限リテ理由ハ何處ニ在ルノデ  
スカ

○政府委員(前田克己君) 大藏省ニ於キマ

シテハ我々ハ資金統一ノ原則ト稱シテ居ル  
ノデゴザイマスガ、總テノ資金ト云フモノ  
ハ成ル可ク一ツノ管理系統ニ置カレマシテ、  
統一ノ資金ノ運用ト云フモノガ動カ  
サレント云フコトヲ希望致シテ居ルノデゴ  
ザイマシテ、各特別會計ニ於キマシテ持  
マスル積立金ノ如キモ、ソレト個々ノ運  
用ニ委セマセズ、總テ之ヲ國債ヲ以テ保有ス  
ル場合ハ別デゴザイマスガ、大藏省預金部  
ニ統一シテ運用スルト云フ風ナ方法ニ持ッ  
テ行クヤウニ努力ヲ致シテ居ルノデゴザイマ  
ス、唯御質問ニ於キマシテ外ノ運用方法ヲ  
認メタ方宜クハナイカト云フ御趣旨ハ、  
恐ラク簡易生命ノ如ク、又此ノ特別會計ノ  
積立金トシテ適ハシイ獨自ノ運用ノ方法ニ  
依リマシテ、積立金ヲ或ハ船員ノ福利施設  
ニ使フ、其ノ他此ノ特別會計ノ積立金ニ相  
應シタヤウナ運用方法ヲシタラ宜イデヤナ  
イカト云フコトグラウト思ヒマスガ、此ノ  
點ニ付キマシテハ、保險院側ト大藏省側ニ  
於キマシテ始終協定ヲ結ビマシテ出來ルダ  
ケ左様ナ趣旨ニ副フヤウニ資金ノ運用方法  
ヲ致スコトニナツテ居リマス

○大橋八郎君 政府委員ノ只今ノ御話ハ能

ク分リマシタガ、併シ此ノ制度ハ非常ニ將  
來永キニ互ル制度ニナツテ居ルコトハ勿論  
デ、殊ニ養老年金或ハ癡疾年金ナドト云フ  
ヤウナ年金ヲ含ンデ居ルノデアリマシテ、  
其ノ責任準備金ノ如キモ將來ハ非常ニ巨額  
ニ上ルノデアリマス、只今御配布戴キマシ  
タ船員保險積立金總額概算ト云フモノヲ拜  
見致シマシテモ、第十五年度ニナリマス

十億ニナル、三十年度ニハ二十二億ニナル、  
五十五年度ニハ二十二億四千萬圓ト云フ巨  
額ノ積立金ガ出來ル譯デアリマス、一方金  
利ノ將來ト云フモノハドウナルカ、是ハ分  
リマヌケレドモ、或ハ現在ヨリ將來ニ於テ  
下ルト云フコトモ想像シナケレバナラスノ  
デアリマス、一方現在ノ年金ノ豫定利率ト  
云フモノハ、先程カラノ政府委員ノ御説明  
ニ依レバ三分五厘ト云フコトニ拜察サレ  
ノデアリマス、此ノ國債ヲ買フト致シマシ  
テモ、將來國債ガ現在ノヤウニ三分五厘又  
ハ三分五厘以上ノ利率ヲ續ケテ居ルト云フ  
コトニナレバ一應ソレデ算盤ガ持テルノデ  
ヤナイカト思ヒマスガ、將來國債ノ利率ガ  
三分五厘ニ必ズ釘付ニナツテ居ルト云フ風  
ニモ必ズシモ斷定出來ナイノデナイカト思  
ハレマス、又預金部ニ預入スルト云フコト  
ニシマシテモ、預金部ノ預入利率ハ何程ニ  
ナツテ居ルカ私ハ存ジマセヌガ、恐ラク現在  
デモ無論三分五厘以下デヤナイカト思ヒマ  
ス、郵便貯金ノ利率ガ三分デアリマスカラ、  
寧ロ三分以下ニナツテ居ルノデヤナイカト  
想像サレルノデアリマス、デ將來ノコトヲ  
考ヘマス、此ノ一ツノ方法ダケニ限ッテ釘  
付ニシテシマツテ、外ニハ運用ノ方法ガナ  
ト云フコトニナルト、三分五厘ノ豫定利率  
ト云フモノガ保テナイト云フヤウナ場合ガ  
生ズルノデハナイカト想像スルノデアリマ  
ス、只今政府委員ノ御説明ニモアリマシタ  
ヤウニ、何かモウ少シ融通ノ利ク方法ヲ執  
リ得ルナラバ、モウ少シ有利ニ運用シ得ル  
方法ヲ執リ得ル途ヲ開イテ置クコトガ、船  
員保險制度自體カラ云フト非常ニ必要ニナ  
テ來ルノデナイカト思フノデアリマス、ソ  
レハ將來預金部ノ方デ必ズ三分五厘ノ利息

ヲ付ケルンダト云フコトノ約束ガ確カニ出

來ルナラバ是デ宜イト思ヒマスガ、恐ラク  
サウ云フコトハ出來ナイデヤナイカト思  
ヒマス、從ッテ將來此ノ儘デアリマス、年  
金ノ運用ニ對スル豫定利率ノ三分五厘ト云  
フモノハ保テナイ時代ガ場合ニ依ッテハ來  
ルノデヤナイカト云フコトヲ心配サレルノ  
デアリマス、其ノ點如何デアリマセウカ  
○政府委員(佐藤基君) 御話ノ通り金利ノ  
將來ガドウナルカ、金利ガ上ル場合ハ別ト  
シテ、下ル場合ヲ考ヘナケレバナラス、ソ  
コデ一方ニ於テ此ノ保險ガ三分五厘ノ豫定  
利率ヲ持ッテ居ルニモ拘ラズ、大藏省預金  
部ニ入レルト云フト、其ノ三分五厘ガ保障  
出來ルカ出來ナイカト云フ問題ガ御心配ノ  
點デアラウト思ヒマス、其ノ點ハ我々モ非  
常ニ氣ニシタノデアリマス、大藏省預金部  
ニ於キマシテハ他ノ資金ガ澤山アル、ソコ  
デ此ノ船員保險ノ積立金ハ大藏省預金部カ  
ラ見レバ極メテ僅カナモノデアリマシテ、  
此ノ表ニ依リマス、十五年度ハ一億、五  
十年度ハ二億七千萬圓ト云フ額デアリマシ  
テ、サウシテ預金部自體カラ見レバ大シタ  
額デヤナイノデ、三分五厘ノ利率ハ保障ス  
ルト云フコトハ大體事務當局デ話ガ付イタ  
ノデ、大藏省預金部ノ運用ヲ致スコト云フコ  
トニ致シタ譯デアリマス、從ッテ三分五厘ノ  
利率ノ點ハ、御心配ノヤウナ點ハ現在デハ  
持ッテ居ラヌ譯デアリマス

○田口弼一君 大體私ノ御話シヨウト思ッ

タコトヲ大橋委員カラ大分御話ガアリマシ  
タノデ、大體盡キタヤウニ思ヒマスガ、  
一、二、三御尋ネシタイト思ヒマス、簡易生  
命保險ハ朝鮮、臺灣等デハ行ハレテ居リ  
マセヌノデスカ、若シ其ノ事情ヲ承レ、バ  
何シタイノデスカ、何か郵便年金ト云フ  
ヤウナ制度ハアルヤウデアリマスガ、アレ  
ハ如何デセウカ、朝鮮、臺灣、關東州ハナ  
イノデスカ、チヨット之ニ付テ御伺ヒシタ  
イ

○政府委員(佐藤基君) 簡易保險ニ付キマ  
シテハ、内地ニ簡易保險制度ガアルノト、  
朝鮮ニ獨立シタ簡易保險制度ガアリマスガ、  
他ノ外地、例ヘバ臺灣トカ、關東州トカ、  
南洋、樺太ト云フヤウナモノニ付キマシテ  
ハ、法制上ハ何デスカ、事實上内地ノ簡易  
保險ガ向フニ伸ビテ行ッテ居ルト云フ形ニ  
ナツテ居ル譯デアリマス

○田口弼一君 朝鮮ノ方ハ何デゴザイマス

カ、矢張り特ニ朝鮮ダケノガアル譯デアリ  
マスカ  
○政府委員(佐藤基君) 朝鮮ニ付キマシテ  
ハ獨立シタ内地ト同ジヤウナ制度ガアリマ  
ス  
○田口弼一君 私ハ此ノ制度ガヨク似テ居  
ルノデハナイカト思ヒマスガ、ドウ言フ風  
ナ狀況ニナツテ居ルカ、參考ニ承ッタノデア  
リマス、先刻大橋君カラ御話ノアリマシタ  
點ト同ジ様ナコトニナリマスガ實ハ朝鮮ニ  
シテモ臺灣ニシマシテモ、既ニ併合シマシ  
テ三十年四十年ノ年月ヲ經テ居リマシテ、  
只今急ニ之ヲ内地ト同様ニスルコトガ出來  
ナイヤウナ點、色々特殊事情ノ點ハ澤山ア  
リマスカラ急ニ行カヌコトハ明デアリマス  
ガ、何時迄モ朝鮮、臺灣、關東州ハ特殊特殊  
ト言ッテ居ッテモ是ハ五十年先ニナリ六十年  
先ニナツテ、ドウ云フ風ニナルノカ知レマセ  
ヌガ、一方デハ大分發達シテ來テ居マス、  
或意味ニ於テハ内地同様ニ政治的ノ何カ參  
與權等モ欲シイヤウナ話モチヨイノ聞ク

何シタイノデスカ、何か郵便年金ト云フ  
ヤウナ制度ハアルヤウデアリマスガ、アレ  
ハ如何デセウカ、朝鮮、臺灣、關東州ハナ  
イノデスカ、チヨット之ニ付テ御伺ヒシタ  
イ

ヤウナ狀況デアリマスガ、サウ云フ風ニ發達ヲ遂ゲツ、アル狀態デアリマスガ、何レノ時カ矢張り内地ト同様ナコトニナルノデハナイカト思フニ付テハ、一度ニナレナイ譯デアリマスカラシテ、漸次何方内地ト同様ノ制度ガ向フガ拒絶セズニ及ンデ行ツテ自然ズツ行クノガ順序デヤナイカト云フ感ジガシマス、殊ニ是ノ如キハ全ク船員保險特別會計ノ中デ一緒ニヤツテ宜ササウナノガ、一々非常ナ面倒ナ法律ノヤウニ私等ハ見エマス、極ク常識的ニ考ヘテ何時ニ斯ウ云フコト迄シナケレバナラスカト思フヤウナ感ジガスルノデスガ、是ハ、今此ノ船員保險特別會計法ノ場合ニ、其ノ御答辯ヲ願ツテ、ドウスル、斯ウスルト云フコトノ御話ヲシテモ、御返事モ或ハ出來ナイカト思ヒマスガ、斯ウ云フ點モ我々ハ何トカ、斯ウ云フコトカラデモ一致シテ行ツテ、サウシテ漸ク逐ウテ内地、外地ガ一體ニナツテ行ク行政ヲ行フヤウナ實ヲ擧ゲテ行クベキデハナイカト云フ感ジガ致シマス、其ノ點ヲ一ツ御考ヘ置キテ願ヒタイト思ヒ居リマス、ソレカラ條文デアリマスガ、實ハ今之ヲ直シタ處デ出來ヌト云フ難點ガアリマスカラ、ドウスルト云フ問題デモアリマセヌガ、殊ニ船員特別會計法ト今一件ノ法案ノ如キハ、我我一讀シテ、チヨット難解ノヤウナ所ガアルノデアリマス、先刻モ大橋委員カラモ條文ニ付テノ御話ガアリマシタガ、私モ三四回讀ンデ斯ウ云フコトグラウト思フヤウナ感ジヲ持チマシタヤウナ狀況デアリマスガ、何カ法文ハ是ハ我々ハ此處デ色々説明ヲ承リマシテ、解スルノニ非常ニ便利ナ地位ニ居ツテ尙チヨット分リ惡カッタヤウナ狀況デアリマスカラ、是ハ一般國民……或ハ辯護

士、或ハ法律ヲ取扱フ人ハ分リマセウケレドモ、サウ云フ人ノミノ法律デナイノデアリマスカラ、何か分リ易イ法律トシテ、是ハ實ニムツカシイノデスカラ、此ノ際何シマスガ、法文ノ如キハ、體裁デハナクシテ意味ガ達スレバ宜イ、多少長クナルカモ知レマセヌガ、文章ハ拙イ文章ニナルカモ知レマセヌガ、ソナコトニ捉ハレズ、ヨク理解出來テ、一讀シテ直チニ理解ノ出來ルヤウニ御配慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、是ハ特ニ分リ惡イ感ジガ致シマスノデ、特ニ其ノコトヲ希望致シマシテ、私ノ質問ヲ終リマス。

○政府委員(前田克巳君) 先程カラ御説明申上ゲマシタヤウニ、制度ハ色々ノ方面ヲ満足サセタイト云フヤウナ希望ノ下ニ非常ニムツカシイ組織ノ上ニ立テラレテ居リマスノデ、法文モ御覽ノ通り非常ニムツカシクテ、一讀シテハチヨット何ノコトガ書イテアルカ分ラナイヤウナ書キ方ニナツテ居ルノデゴザイマシテ、其ノ書キ方ニ付キマシテモ有ラユルモノヲ包含シ、又相互ノ負擔ガ公平ニナルヤウニト云フコトヲ念願シテ、斯ウデモナイ、アアデモナイト云フノデ、色々關係ノ向ガ打合セラシマシテ書イタ結果ガ此ノヤウニナリマシタノデ、現在ノ組織ヲ續ケテ行キマス上ニ於キマシテハ、チヨット是以外ノ表現モムツカシカラウト思フノデゴザイマス、將來ハ其ノ制度ノ根本ヲモウ少シ何トカ簡易ナ組織ニ改メルヤウニ致シマシテ、法律ノ方モ成ルベク一般ノ人ガ讀ンデ分リ易イ法律ニシタイト云フコトハ、私共モ希望シテ居ル所デゴザイマス。

○男爵深尾隆太郎君 チヨット簡單ナ……

此ノ前勅令案ノ要綱ト云フノヲ御示シテ願ツタノデスガ、船員保險特別會計法案第一條第二項關係勅令案要綱、ソレニアリマス各特別會計ニ所屬セシムル歳入歳出ハ左ノ如クスルコト、保險料官業共濟組合ヨリノ受入金及附屬雜收入ヲ以テ其ノ歳入トストアリマスガ、茲ニ船員特別會計ヨリノ繰入金ト云フモノガ謳ハレルベキモノデハナイデセウカ、支出ノ方ニモ船員保險特別會計ヘ繰入金ト云フノガアルベキモノデハナイカト思ヒマスガ、是ガナイヤウデスガ、ナイ方ガ正シイノデスカ。

○政府委員(前田克巳君) 此ノ船員保險特別會計法第一條第二項關係トシテ勅令ニ規定シマスル事柄ハ各、外地ニ於キマスル船員保險ノ事業ノ歳入歳出、及ビ先程大橋委員カラ御質問ノゴザイマシタ當該地以外ノ地域ニ於ケル船員保險ノ事業ノ歳入歳出ヲ勅令ニ依リ規定致シテ居ルノデゴザイマシテ、此ノ船員保險特別會計ト外地ノ特別會計トノ間ノ出入ノ關係ト云フモノハ、此ノ勅令デハ規定スルノデハゴザイマセヌノデ、特別會計ガ自己ノ本來ノ目的以外ニ、他ノ特別會計トノ間ニ歳入歳出ノ出入リヲ致シマスルト云フコトハ、是ハ法律ノ規定ヲ必要トスルト云フ從來ノ取扱ニナツテ居リマスルノデ、只今御審議ヲ願ツテ居リマスル別ノ分擔及關涉ニ關スル法律ト云フ方デ法律ヲ以テ規定致シテ居ル次第デゴザイマス。

○委員長(侯爵大隈信常君) ソレデハ午前中ハ此ノ程度デ休憩シマシテ、午後二時カラ開會致シマス。

○委員長(侯爵大隈信常君) 開會致シマス、何か御質問ガゴザイマスレバ此ノ場合ニ……

○男爵近藤滋彌君 チヨット取扱上ノコトデ伺ヒタイノデスケレドモ、斯ウ云フ場合ハ殆ドナイト思ハレマスケレドモ、今丁度「ヨーロッパ」ナドハ戰時狀態ニナリ、又日本モ或場合ニハ交戰國ノ中ニ入ラヌトモ言ヘヌト思ヒマスガ、サウ云フ時ニ假ニ日本ノ船ガ拿捕サレ或ハ沒收サレタト云フヤウナ場合ニ、其ノ船員ガ船カラ下サレテ向フデ長イ間抑留サレタトカ言フヤウナコトガアツタ時ニハ、此ノ養老年金ナンカノ場合ニ其ノ期間ヲ加算スルヤウニサレマスカ、チヨット伺ヒタイト思ヒマス。

○政府委員(佐藤基君) 今ノ御話ハ結局法律的ニ申シマスル、船員法ノ船員タル資格ヲ其ノ場合持ツテ居ルカドウカ、船員法ノ船員タル資格ヲ持ツテ居レバ、被保險者デアアル、サウスレバ其ノ間ノ期間ハ保險ノ關係ノ十五年ト云フモノニ加算サレル譯デスガ、唯抑留サレタ場合ニ矢張り船員タル資格ヲ持ツテ居ルカドウカト云フコトハチヨット能ク分リマセヌガ、恐ラク船員タル資格ハモウ船ト離レテシマヘバ無クナルノデハナイカト思ヒマス、サウスレバ其ノ間ノ期間ハ加算サレナイト思ヒマス。

○男爵近藤滋彌君 サウスルト無クナルト云フ風ニ御解釋ニナルデスカ。

○政府委員(佐藤基君) ドウモソレハ船員法ノ解釋問題デ、實ハ所管ガ遞信省ナモノデスカラ實ハ私能ク存ジマセヌケレドモ……

○子爵松平忠壽君 船員ノ數ガ大變近頃不足シテ居ルト云フコトヲ聞クノデアリマス

午前十一時四十四分休憩  
午後二時六分開會

ガ、今度ノ事變デ應召サレテ居ル數ハドノ位アルカ、其ノ邊ヲチヨット伺ヒタイ

○委員長(侯爵大隈信常君) 今遞信省ノ人ガ居ラレヌカラ……

○子爵松平忠壽君 是モ遞信省カトモ思ヒマスガ、モウ一ツ伺ヒタイ、船員保險法ガ愈々實施サレルト云フコトガチヨット先程ソコデ御話ガアツタヤウデスガ、海事協同會ノ方ノ規定トダブツテ船主アタリガ負擔ガ過重シテ居ルヤウニ思フデスガ、是ハ此ノ前ノ議會ノ委員會デモ大分問題ニナツテ居ルノデスガ、其ノ海事協同會ノ規定ヲ訂正スルト云フコトハオヤリニナルノデゴザイマスカ

○政府委員(佐藤基君) 現在船主ノ方カラ船員ニ對シマシテ退職シタ時ノ金デアルトカ、海難シタ時ノ給付デアルトカ、色々船主ノ方デヤツテ居ル、ソレト今度ノ船員保險ノ給付ト云フモノガ或點ニ於テハダブル譯デゴザイマス、サウ云フコトニナルト、若シ現在ノ船主ノヤツテ居ルノヲ其ノ儘ニシテ置イテ、而モ此ノ保險ヲ同時ニヤツテ行クト云フコトニナリマス云フト、船主ハ從來ノ負擔ヲシテ居ル上ニ今度ノ給付ニ付テノ保險料ノ半額ヲ負擔スルト云フコトニナツテ負擔ガ非常ニ重クナル、ソコデサウ云フコトハ面白クナイ、ソレデ此ノ前ノ船員保險法ヲ作ル際ニ於キマシテ、船主ト船員側トガ相談致シマシテ、サウ云フ風ナ重複スル部分ニ付キマシテハ適正ナル調整ヲ行フ、遞信省ガ中ニ入ッテ行クト云フコトデ此ノ案イテ近ク適正ナル調整ヲ行フ積リデ居リマス

○大橋八郎君 此ノ船員保險特別會計法、

ノ第一條ト第二條ノ規定カラ考ヘマス、内地ノ船員保險經營ニ關スル一切ノ收支ヲ總テ此ノ特別會計ノ中デ賄ハレルカノ如ク讀マレルノデアリマスガ、此ノ昭和十五年度ノ厚生省ノ豫算ヲ拜見致シマス、特別會計以外ニモ厚生省ノ分ヘ船員保險關係ノ費用ガ計上サレテ居ルヤウデアリマスガ、是ハ特別會計法ノ建前ナリ文句ナリカラ見テ正シキ解釋ナンデアリマセウカ、ドウモ此ノ文句、文章カラ讀ミマス、一切ノ船員保險ニ關スル收入支出ト云フモノガ總テ此ノ特別會計法ノ中デ處辨サレベキモノヤウニ考ヘラレルノデアリマスガ、實際ハサウデハナイヤウニナツテ居ルヤウデアリマス、此ノ點ハドウ云フ風ナ御解釋ニナツテ居リマセウカ

○政府委員(佐藤基君) 御話ノ點デゴザイマスガ、是ハ全部特別會計デアルト云フ方法モアル譯デアリマス、例ヘバ先ヅ私ノ方ノ關係ノ簡易保險特別會計法ニ於キマシテハ其ノ簡易保險ノ關係ノ職員其ノ他ノ保險院ニ於ケル職員其ノ他ノ費用全部特別會計デアル譯デアリマス、處方船員保險特別會計ニ於キマシテハサウヤツテ居ラナイノデアリマシテ、此ノ船員保險ニ關スル仕事ヲスル者デアツテモ、保險院ノ人、サウ云フ保險院ノ人ハ一般會計ノ豫算デヤツテ居ル部分ガアルノデアリマス、此ノ點ハ現在ノ健康保險ニ於キマシテモ、或ハ今度出來ル職員健康保險ニ於キマシテモ、從來サウ云フ風ニヤツテ居ルノデアリマスカラシテ、是モ同ジヤウニサウ云フ風ニヤルコトニシタ譯デアリマス

○大橋八郎君 ソレハ何デゴザイマスカ、職員健康保險或ハ從來ノ健康保險特別會計

法ノ書キ方ト今度ノ船員保險特別會計法ノ第一條ナリ二條ナリノ書キ方トハ何カ違フテ解釋上當然サウ云フ結論ガ出ルノデゴザイマセウカ、唯書キ方ナリ解釋ハ同ジニ解釋サレルノダケレドモ實情ハサウヤツテ居ル、斯ウ云フコトデアリマセウカ、何カ違フテ居ル點ガアレバ御教ヲ願ヒタイ

○政府委員(前田克巳君) 其ノ點ハ別ニサウ云フ相違ハゴザイマセヌデゴザイマス

○大橋八郎君 サウスルト法律ノ文面ハ同ジコトデモ唯實際ノ取扱ガ違フ、サウ云フコトニ解釋シテ宜イノデスカ……私實ハ餘リ外ノコトハ詳シク覺エテ居ル譯デアリマセヌケレドモ、此ノ特別會計法ノ第一條第一項ナリ第二條ノ書キ方ト云フモノハ先程例トシテ御引キニナツタ健康保險法、簡易保險ノ書キ方ト同ジデヤナイカト思ヒマス、處方一方ハ同ジ書キ方デアルガ、總テノ經費ヲ特別會計ノ中デ賄ツテ居ル、此ノ船員保險ノ方ハ一部分ハ船員保險デ賄フガ、其ノ一部分ハ又一般會計デ賄ツテ居ル、斯ウ云フヤリ方ハドウモヤリ方ガ二途ニ出テ居ルヤウデアルカラ何カ根據ガ違ヒマスカト思フデ質問シタノデアリマス

○政府委員(佐藤基君) 今ノ點ヲ御答ヘ致シマスガ、要スルニ船員保險事業、是ハ現在ノ健康保險ノ方デスト健康保險事業或ハ今度出來ル職員健康保險其ノ範圍ノ解釋ノ問題ニナル譯デアリマス、保險院ノ人間ガヤツテ居ル部分、一般會計負擔ノ、給料ヲ一般會計デ負擔シテ居ル保險院ノ人間ノヤツテ居ル仕事ガ此ノ事業ノ中ニ入ルカ入ラヌカト云フ解釋ノ問題デアリマス、若シ入ルト云フコトニナレバ特別會計ノ支辨ニシナイデ一般會計デアルト云フコトハワカシイ

ト云フコトニナル譯デス、唯其ノ點ハ事業ノ範圍ニ入ラス、例ヘバ殊ニ此ノ健康保險法ニ於キマシテハ組合ノ監督ノ仕事モアリマスシ、或ハ又組合ト政府トノ關涉等ニ共通シタ關係ノ仕事ヲスル場合モアリマスシ、此ノ特別會計法ニ書イテアル事業ノ範圍ニ入ラス、サウ云フ解釋デ一般會計デヤツテ居ル譯デアリマス

○大橋八郎君 サウ致シマストマア外ノ事ハ兎モ角、此ノ船員保險ニ關スル經費ノ増加トシテ厚生省ノ來年度豫算ニ上ツテ居ル保險院ノ三萬五千二百圓ト云フモノガアリマスガ、是ハ事業ニ關係ノナイト云フノデスカ

○政府委員(佐藤基君) チヨット今數字ヲ持ツテ居リマセヌノデ調べマシテ御答ヘ致シタイト思ヒマスガ、要スルニ保險事業ノ「ロバー」ノモノデハナイ、ソレダカラ一般會計デ負擔スル、斯ウ云フ建前ダト思ヒマス

○大橋八郎君 後デ具體的ノ問題ニ付テ御説明願ヘレバ結構ダト思ヒマスガ、何ナラ此處ニアリマスカラ御覽ヲ願ヒマス……ソレデハ外ノコトヲ序デニチヨット細カキコトニナリマスガ、此ノ船員保險事業ノ經營ニ伴フ關係各會計間ノ分擔及關涉ニ關スル法律案ノ第二條デアリマスガ、其ノ第二條ノ中ニ、「療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ要シタル費用」ト云フ言葉ガアリマス、第二行目デアリマス、ソレカラ三行目ニ「其ノ他ノ保險給付ニ要シタル費用」トアリマシテ、此ノ費用ト前ノ費用ト云フノトハ、少シ言葉ガ違ツテ居リマス、是ハ何カ意味ガ違フノデアリマスガ、療養ノ給付及傷病手當金ノ支給ニ要シタル費用ト云フコトト、「保險給

付ニ要シタル費用」ト云フノハ、何カ意味ガ違フノデアリマスカ、チヨット此ノ文句ダケカラ見ルト、一方ハ支拂ノ手續ノ費用ノヤウニ見エルト、一方ハサウデナイ、何カ外ノ給付其ノモノノ額ノヤウニモ見エマスガ、何カ違フノデセウカ

○政府委員(前田克己君) 是ハ意味ハ相違ハゴザイマセヌデス、唯下チラモ給付金ノコトヲ謂フモノト御諒承ヲ願ヒタイノデゴザイマス、書キ方ヲ違ヘマシタノハ前ハ支給ト云フ言葉ヲ使ヒマシタガ、後ハ直グ保險給付ト云フコトニナリマシタノデ、少シク言葉ノ言廻シガ違ヒマシタノデゴザイマスガ、意味ニ相違ハゴザイマセヌデス

○政府委員(佐藤基君) 只今大橋サンカラ御尋ノ、三萬五千圓ノ問題ニ關シマシテ御答ヘ致シマス、其ノ經費ハ人件費、ソレカラ船員保險講習會ノ費用等デアリマシテ、人件費ノ方ハ船員保險ノ仕事ト、一部分ハ地方廳ニ分擔スルノデ、其ノ地方廳ノ監督ノ費用、サウ云フモノデアリマス

○大橋八郎君 サウスルト此ノ審査會ノ費用ナドハ何處ニ入ッテ居ルノデアリマスカ

○政府委員(佐藤基君) 審査會ノ費用ハ三萬五千圓ノ中ニ入ッテ居リマス

○大橋八郎君 審査會ノ費用ナドハ、矢張り此ノ事業ニ關スル費用デヤナイノデセウカ、普通考ヘル處デハ事業ニ關スル費用ノヤウニ思ヒマスガ、事業ニ關係ノナイ費用デゴザイマセウカ

後ノ處ノ但書ニ、但シ長期給付ニ關スルモノナルトキハ其ノ調定濟歲入額ノ五分ノ四ニ相當スル額ト書イテアリマスガ、是ハドウ云フ御趣旨デアリマスカ

○政府委員(佐藤基君) 五分ノ一ノ關係ニ於テハ、是ハ朝鮮デ出ス場合ハ一般會計カラ朝鮮ニヤルシ、其ノ残りノ部分ガ朝鮮總督府特別會計ト船員保險特別會計ノ關係ニ於ケル問題ニナリ、其ノ五分ノ四ノ船員保險特別會計カラ朝鮮總督府特別會計ヘ繰入レル、シコデ斯ウ云フ風ニナル譯デアリマス

○大橋八郎君 此ノ長期給付ト云フノハ年金ダケト云フ意味デアリマセウカ

○政府委員(佐藤基君) 年金ガ主デアリマスガ、此ノ法律ノ文句ヲ讀ミマス、「療養ノ給付及傷病手当金ヲ除クノ外保險給付」デアリマス、從ッテ養老年金ガ主デアリマス、斯クノ如キ養老年金、脱退手当金等ガ主デアリマス

○大橋八郎君 サウスルト長期給付ト云フ言葉ハ少シ當ッテ居ナイカモ知レヌ、脱退手当金ハ一遍ダケ支給スルモノデアリマス、此ノ長期給付ト云フノハ長ク繼續シテ給付スル意味ノモノデアリマセウカ

○政府委員(佐藤基君) 長期給付ト云フコトハ或ハ妥當ヲ缺クカト思ヒマスガ、短期給付ト云フノハ其ノ年ノ保險料收入デ其ノ年ノ給付ヲ支辨シテ行ク、然ラザルモノヲ長期給付ト謂ッテ居ル譯デアリマス、ダカラ例ヘバ脱退手当金ト云フモノハ保險料ヲ基礎ト致シマシテ計算スル、今年ノ保險料デ今年ノ脱退手当金ヲ拂フト云フモノデナイ、サウ云フモノヲ長期給付ト云フ言葉ヲ假ニ使ッテ居リマス、此處デ我々ノ普通使ッ

テ居ル言葉ヲ使ッテ居ルノデ、勅令ニ書ク場合ニ長期給付ト云フコトハ正確ヲ缺クモノデアルカラ法律ニ書イテ居ルヤウナ言葉ニ依ッテ、即チ療養ノ給付及傷病手当金ノ支給ニ要シタル費用、保險給付ニ要シタル費用、サウ云フ風ノ字ヲ使フト思ッテ居リマス

○子爵秋元春朝君 小サナコトデスガ官業共濟組合ト云フノハ、是ハ内容ハ何デスカ

○政府委員(佐藤基君) 官業共濟組合ト申シマスノハ例ヘバ鐵道省ノ現業員ノ共濟組合ガアリマスガ、其ノ中デ雇傭員等ニ於キマシテ船員タル資格ヲ持ッテ居ル、例ヘバ關釜連絡線デアルトカ、其ノ他鐵道省ノ船員アリマスガ、ソレニ乘ッテ居ル者デ船員タル資格ヲ持ッテ居ル者、ソレガ鐵道省ノ共濟組合ニ入ッテ居ル譯デアリマス、サウ云フ場合ヲ此處ニ謂ッテ居ル譯デアリマス

○子爵秋元春朝君 今ノ鐵道省ノ例デ言ヘバ關釜連絡船ナドヲ言フ譯デスガ、ソレダケノモノガ之ニ入ル譯デスカ

○政府委員(佐藤基君) 仰セノ通りデアリマス

○子爵秋元春朝君 モウ一ツ伺ヒマスガ、特別會計ト云フモノガマア一時大變殖エタコトガアッタノデアリマスガ、餘リ殖エ過ギルト云フノデ一時整理シテ數ガ減ッタノデアリマスガ、今度ハ又逆ニ段々殖エテ來テ、昨年度ハ四十二ダカ特別會計ガアッタノデアリマスガ、本年モ七ツバカリ是ガ加ハルト云フヤウナコトデ、一般會計ノ總額ガ非常ニ大キクナッタト云フ關係モアリマセウケレドモ、以前議論ニナリ、特別會計ガ非常ニ殖エテ困ルカラ減ラスト云フノデ行ッテ居ッタノガ、今度又逆ニナッタノデアリマスガ、一體下チラノ方針ヲ御採リニナルノ

デアリマスガ、特別會計ハ成ルベク減ラシテ一般會計デ處理シテ行キタイト云フ御氣持デアラウトハ思ヒマスガ、斯ウ云フ風ニ一年ニ七ツモ八ツモドンノ殖エルト云フコトニナレバ數限リガナイノデアリマスガ、ソレニ付テ大臣力次官ニ御伺ヒスルノガ本筋力知レマセヌガ、事務ヲ御取扱ニナル御方デモ宜シウゴザイマスカラ御所見ヲ承リタイ

○政府委員(前田克己君) 仰セノ如ク總豫算主義ト云フコトヲ出來ルダケ守ッテ行キタイト思ッテ居リマスノデ、從來ノ方針ヲ改メテ、特別會計ヲ作ルコトヲ積極的ニ認メルヤウナ方針ハ持ッテ居リマセヌコトヲ、私ハ事務ノ者デゴザイマスガ、大藏省全體ノ方針トシテ申上ゲテ誤リガナイト思フノデアリマス、唯仰セノ本議會ダケデモ七ツノ特別會計法案ノ御協賛ヲ願フヤウナ状態デアリマシテ、聊カ其ノ方針ニ反スルヤウナ現象ヲ呈シテ居リマスルガ、各特別會計ニ付テ御覽願ヘレバ、例ヘバ此ノ船員ノ特別會計ト云ヒ、職員健康保險ノ特別會計ト云ヒ、何レモ從來ノ他ノ事業トノ權衡、其ノ外其ノ事業ヲ遂行シテ參リマスル特別ノ必要ノ上カラ已ムヲ得ザルモノト考ヘテ居ルノデゴザイマス、ソレト最近ノ如ク國ガ經濟統制ノ分野ニ非常ニ強力ナ活動ヲ開始シテ、其ノ分野ニ進出ヲシテ行キマス時ニハ、ドウシテモ國ガ或特定ノ事業ヲ營ムト云フコトニ依リマシテ、特別會計ガ殖エテ行クト云フコトハ已ムヲ得ナイ傾向ニナッテ居ルノデハナイカト考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵秋元春朝君 戴キマシタ參考書ノ中ノ船員保險特別會計調、是ハ無論六月カラ

實施ニナルノデゴザイマスガ、僅カ十箇月分ノ豫算デアラウト思フノデアリマスガ、是ハマア初メノ年デスカラ少イノデモアリマセウガ、歳出ノ方ノ事務費ト申シマスカ、何方知ラヌガ百三十八萬六千圓、コンナモノデズト行クノデセウカ、ソレカラ又明年度ニハ非常ニ殖エルト云フ風ナ關係ニナリマスカ、御説明ヲ願ヒタイ

○政府委員(佐藤基君) 歳出ノ方ハ此ノ保險ノ中心ガ年金ニアルノデ、年金ノ支拂ガ全面的ト申シマスカ、非常ニ多クナル場合ガアル、サウ云フ時ニ非常ニ殖エマス、唯非常ニ年金ノ支拂ガ殖エルト云フノハ三十年或ハ五十年後ニ起ル現象デアリマスカラ、ソレ迄ハ歳出ハ長期給付ハ初メハアリマセシ、所謂短期給付ダケデアリマスカラ、サウ違ハナイノデゴザイマス、年ガ経過ツニ從ツテ長期給付ト云フモノハ段々殖エテ來ル、三十年、五十年後ニ恐ラク非常ナ歳出ノ時代ガ來ル、其ノ狀態ガズト續イテ來ルト云フコトニナルノデアリマス

○子爵秋元春朝君 支拂ニ付テデゴザイマスガ、矢張りモ頂戴シタ船員保險積立金總額概算(内地殖民地合計)トシテアリマス、一年度ハ五百萬圓前後、ソレカラ段々ニ殖エテ行ツテ、五十年モ經テバ二億七千四百萬圓ト云フ風ニナリマスガ、尤モ是ハ積立金デ此ノ中カラ保險給付トシテ、其ノ他色々ナ給付ヲ御出シニナルノデセウガ、一見スルト餘ルヤウニ見エルトデスガ、相當ナ金ガ餘ルデセウネ、其ノ點ノ御見込ハドンナモノデゴザイマセウカ

○政府委員(佐藤基君) 是ハ積立金ガ段々殖エテ來マシテソレガ將來ノ、主トシテ年金デアリマス、長期給付ニ對スル財源ニナル譯デアリマス、ソレダカラ餘ルト云フノデハナクシテ、ソレハ將來拂フト云フコトヲ豫定サレタ金ガ現在アル、サウ云フ狀態ニナル譯デアリマス

○子爵秋元春朝君 サウスルト法案ノ中ニ足リナイ時分ニハ借入金ガ出來ルト云フコトニナリマスシ、又餘ツタラ是ハ預金部ニ預入レラスルト云フコトニナツテ居リマス、此ノ借入金ヲ見込シテ居ラレハ、何時カ足リナクナルト云フ豫定ガアルノデスカ

○政府委員(佐藤基君) 是ハ借入金ニ付キマシテハ現在ノ斯ウ云フ社會保險制度ノ特別會計法ニモ規定スル所デアリマシテ、普通ニハ考ヘテハ居ラヌノデアリマスケレドモ、若シモ保險給付ガ出來ナイ困ルカラシテ、サウ云フ場合ニ借入金ヲスル、或ハ又保險給付ヲスル金ガ計算上アル、併シナガラソレハ國債ニ投資サレテ居ルト云フ場合ニ國債ヲ賣ツテ金ヲ拂フト云フコトモ出來マスケレドモ、サウ云フ場合ニ國債ハアル、財產ハアルケレドモ現金ガナイト云フ場合モ考ヘラレハ、サウ云フ關係デ斯ウ云フ規定ヲ置イテ居ル譯デアリマス

○子爵秋元春朝君 是ハ小サナコトデスケレドモ、船員保險法ニ限ツテ今度外地ニ迄之ヲ實施サレルトデスカ、其ノ外ノ保險院ガ御持ニナツテ居ル保險事業デ外地ニ迄之ヲ擴ゲル何カ御見込ガアリマスカ

○政府委員(佐藤基君) 保險院デ今ヤツテ居リマスノハ工場、鑛山ノ労働者ノ健康保險、ソレカラ農山漁村ノ者ヲ相手ニスル國民健康保險、ソレカラ此ノ六月カラ施行サレル職員健康保險、之ヲマア社會保險トシテヤツテ居ル譯デアリマスガ、船員ニ付キマシテ、特ニ斯ウ云フ風ナ外地關係ヲ實質上

同一制度デ包括スルト云フコトハ、是ハ船ノ移動ガ内地在籍船ハ内地バカリ動イテ居ル譯デアリマス、内地ノモノガ外地ニ行ク場合モアリ、外國ニ行ク場合モアルシ、又外地ノモノガ内地へ來ル場合モアルシ、外國へ行ク場合モアリ、他ノ制度ト違フテ移動性ガアルノデ、内外地ヲ區別スルト云フコトガ不適當デアルト云フコトヲ強ク感ゼラレ

ル譯デアリマス、之ニ反シテ工場、鑛山ノ労働者ノ爲ノ健康保險デアルトカ、或ハ都市ノ「サラリーマン」ノ爲ノ職員健康保險ト云フヤウナモノハ、矢張り其ノ土地ノ文化ノ狀況デアルトカ、或ハ他ノ社會施設等トノ關係ヲ考ヘテヤルノデアツテ、或ハ將來朝鮮、臺灣等ニ於キマシテ、サウ云フ風ナ労働者ナリ職員ノ保護施設ヲ社會保險デアルト云フ時期ガ來ラウトハ思ヒマスガ、現在ノ所ハ、サウ云フ時期ニ達シテ居ナイト云フ關係デ、向フデヤツテ居ラヌモノト思ヒマス、又其ノ制度ヲ朝鮮、臺灣デ實施スルニ致シマシテモ、是ハ保險數字ノ關係ガ極めて簡單デアリマシテ、其ノ年度ノ收入ヲ以テ、其ノ年度ノ保險ノ給付ニ充テルト云フ建前ヲ内地デ執ツテ居リマスガ、同建前ヲ執ルナラバ、何モ内外地ヲ共通ニシナケレバヤリニクイト云フコトハ船員保險程感ゼラレナイ譯デアリマス、ソレカラ尙保險院デヤツテ居ル保險ト致シマシテハ、簡易保險、郵便年金デアリマスガ、簡易保險ニ付キマシテハ、朝鮮デハ内地ト同ジヤウナ簡易保險ヤツテ居リ、ソレカラ他ノ外地ニ付キマシテハ、實質上内地ノ制度ガ向フニ延ビテ居ルト同ジヤウナ風ニヤツテ居リマス

○子爵秋元春朝君 此ノ節内地ニ労働者ガ非常ニ不足シテ居ル關係カラデアリマセウガ、内鮮人アタリヲ、相當澤山ノ數ヲコチラニ移住サシテ勞務ニ當ラセテ居ルノデアリマスガ、是等ノ關係ハ是カラ益、多數ニ上リマセウト思ヒマスガ、斯ウナツテ來ルト、矢張り勞働保險ナント云フコトモ、内地外地ヲ通ジテ矢張り一本建ニデモシナケレバナラヌト云フヤウナ關係ガ起ルト思フノデアリマスガ、其邊ニ付テノ御所見如何デスカ

○政府委員(佐藤基君) 朝鮮人ガ御承知ノ通り澤山内地へ入ッテ來マシテ、例ヘバ炭坑デ働クト云フヤウナコトニナレバ、ソレハ矢張り健康保險ノ被保險者ニ法律上當然ナル譯デアリマス、内地ト云フ地域ニ入ッテ來レバ、内地ノ制度デアリマスカラ、ソレガ内地人デアラウト、内地人ニアラザル者デアラウト、區別スルト云フコトハ法律上ヤツテ居ラナイノデアリマス、處ガ内地ト云フ地域以外、朝鮮トカ臺灣ト云フ地域デアレバ、内地人ノ労働者ガ向フヘ行ツテ其ノ土地デ働カウガ、ソレカラ其ノ土地ノ外地人ガ其ノ土地デ働イテモ、何レモ制度ガナケレバ如何トモスルコトガ出來ナイ、内地人ノ立場カラ云ヘバ、内地デ労働者トシテ働イテ居ル場合ト、外地デ働イテ居ル場合トハ、保險的ノ保護ト云フコトニ差別ヲ生ズルト云フコトニナル譯デアリマス

○子爵秋元春朝君 サウシマスルト、先程御話ノアツタ簡易保險ハ是ハマア今内地ノ一本建、朝鮮ノ一本建ト云フコトニナツテ居ル譯デスガ、船員法ノ制定ノ趣旨カラ云ヘバ、是ナドハ一本建ニシテヤツテ行ツタガ都合ガ好イノデアリマセウカ、其ノ點如何デスカ

○政府委員(佐藤基君) 簡易保險ニ付キマシテ、朝鮮デ簡易保險ヲ作ル際ニ、内地ノ

制度ニ據ラセルカ、朝鮮デ獨立シテ制度ヲ作ラセルカト云フコトハ、專業經營ノ見地カラ、危險分散ト云フ見地カラ、非常ニ議論ニナツタリデアリマスガ、相當朝鮮ニモ人間ガ居ルト云フノデ、向フデ獨立ニ經營シテ居ル次第デアリマス、他ノ外地ニ付キマシテハ、數ガ比較的少イシ、危險分散ノ見地カラ、外地ガ獨立シテヤツテ行クト云フコトハ適當デナイノデ、事實上内地ニ合ハシテ居ルデアリマス、法制的ニハ可ナリ疑問ガアルノデ、其ノ點ヲモット明瞭ニシヨウト云フ譯デ、保險院ト外地當局トノ間ニ現在折衝ヲ重ネテ居ル次第デアリマス

○子爵秋元春朝君 先程下ナタカカラ御質問ニナツタト思ヒマスガ、船員保險法デモ、内地、朝鮮、臺灣、關東州ダケハ入ッテ居ルノデ、樺太トカ南洋トカ云フ所ハ脱ケテ居ルノデ、是ハ人數ガ非常ニ少イカラト云フ意味デ、ソレトモ何カ他ニ特別ノ理由デモアツテ、之ヲ除外シタノデスカ、其ノ點御説明願ヒマス

○政府委員(佐藤基君) 船員保險ニ於キマシテハ、法制上船員デナケレバ船員保險ノ被保險者ニハシナイ、ソコデ法制上ノ船員ト云フモノガ、南洋ナリ樺太ニアラナラバ勿論入レル筈デゴザイマスガ、現在船員法規ガ南洋ニモ樺太ニモナイノデアリマス、サウ云フ譯デ南洋、樺太ハ入ッテ居リマセ、恐ラクアソコハ内地ノ在籍船ガ行クトカ、大連ノ在籍船ガ行クトカ云フコトデ、事實上向フニ行ク船ニ乗ッテ居ル船員ハ、コチラノ船員法、或ハ船員令ノ制度ノアル所ノ地域ノ船員トシテ、此ノ保險制度ニ入ル譯デアリマス

○子爵秋元春朝君 南洋アタリノ人口ノ増加ト云フモノハ最近非常ニ著シイモノデ、南洋土人ガ五萬トカ云フコトデアリマスガ、内地人デ向フニ移住シテ居ルノモ八萬トカ云フコトニナツテ居ル、其ノ外色々ナ事業ガアソコデ今發展シツ、アルノデ、臺灣等ニ付テモ相當ノモノガ出來ルヤウナ計畫モアルノデ、サウスレバ其處ニ船籍ヲ置イタ方ガ便利ダト云フコトモ出テ來ルグラウト思ヒマスガ、是ハ極ク急ニハサウ云フ風ナコトニハナリハシナイト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニハ、是ハアトデ入レルト云フヤウナ御考ガアリマスカ

○政府委員(佐藤基君) 將來マア南洋ガ發展シテ、向フニ船籍ヲ置クノガ便利デアルト云フコトニナレバ、恐ラク南洋ニ船員令ト云フヤウナモノガ出來マスト思ヒマス、サウスレバ他ノ外地ト同ジヤウニ、船員制度ガアル他ノ外地ト同ジヤウニ、此ノ保險ニ入レルコトガ望マシイコトダト思ッテ居リマス

○子爵秋元春朝君 只今ノ場合ダト、南洋ニ船員法ガ一ツ別ニ出來ナケレバイケンデスカ、ソレトモ今アル船員法、之ヲ延長ト云ヒマスガ、追加ト云フカ、サウ云フヤウナ便宜ナ方法デ、是ハ法律化シテ行クコトガ出來マスガ、其ノ點ハ如何デスカ

○政府委員(佐藤基君) 此ノ南洋ハ、法規ノ關係ニ於キマシテハ、關東州ナドト同ジヤウニ、日本ノ内地ノ船員法ヲ擴張シテ向フデ施行スルト云フコトヲヤツテ居ラスノデ、是ハ恐ラク向フデ船員法規ヲ作ルト云フコトニデモナツテ、南洋群島ノ特別ナ船員制度、即チ船員令ト云フモノヲ作ルト云フコトデ、向フニ船員令ヲ作り、又船舶法規

ヲ作り、ソレニ依ッテ船員制度ガ決レバ、コチラヘ入レルト云フコトデ、コチラノ制度ヲ向フニ其ノ儘延バスト云フコトハ制度上困難ナコトト思ヒマス、但シ實質上ハ一緒ニスル、丁度關東州ト同ジヤウニ、關東州ニ付キマシテハ、船員保險ニ付テハ、船員保險法ハ關東州ニハナクテ、船員保險法ト同ジ内容ヲ有スル船員保險令ト云フノヲ作ッテ居ルノデアリマス、船員ニ付キマシテハ、船員法ハナクテ、船員會ト云フモノヲ作ッテ居リマスノデ、法規關係ハチヨット別ニナリマスガ、實際上ノ關係ニ於テハ、南洋ニサウ云フ制度ガ出來レバ、關東州ト同ジヤウナ扱ヒニナリ、即チ内地ノ制度ガ實質上其處迄延ビテ行クト云フ風ナ結果ニ爲スベキダト思ヒマス

○大橋八郎君 昔、今デモアルカモ知レマセヌガ日清汽船、日清汽船ノ船ハ大部分今度東亞海運ノ方へ移ツタノカモ知レマセヌガ、兎ニ角長江筋ダケ歩イテ居ルモノニ乗組ンデ居ル日本ノ船員ト云フモノハ、船員法ヲ施行サレテ居ルカドウカ存ジマセヌガ、ドウ云フ關係ニナツテ居リマスガ、詰リ此ノ船員保險ノ適用ヲ受ケナイコトニナリマスカ、ソレトモ何カノ方法デ受ケルト云フコトニナリマスカ

○政府委員(佐藤基君) 日清汽船ノ大キナ船ハ、何レモ船籍ガ日本ニ在リマスノデ、普通ノ船員法デ、ソレニ乗ッテ居ル船員ニ適用ニナルノデ、コチラノ方ニ入リマスガ、揚子江ダケヲ通ッテ居ル船ハ、或ハ平水航路ト云フ解釋ニナツテ居ルノデアリマスガ、其ノ點チヨット分リマセヌガ、何レ通信省ノ方ガ見エマスカラ、其ノ時ニ併セテ御答ニナルト思ヒマス

○委員長(侯爵大隈信常君) 御諮リ致シマスガ、遞信省カラ説明員ガ御出デニナツテ居リマスカラ、發言ヲ御許シテ宜シウゴザイマスカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵大隈信常君) ソレデヤ米田課長

○説明員(米田富士雄君) 船舶ガ拿捕サレタ場合ニ於キマシテ、其ノ乗組ノ船員ハ依然トシテ船員デアル身分ヲ持ッテ居ルカドウカト云フ御質問ノヤウニ承リマシタ、實ハサウ云フ「ケース」ガ今迄ナイノデゴザイマシテ、此ノ船員法ヲ適用スルコトニ付キマシテモ、船員法デソレヲハッキリ規定シテ居ル條文モゴザイマセヌノデ、結局解釋ノ上カラ之ヲ決メナクテハナラナイカト存ジマスガ、唯船員法ノ中ニ、斯ウ云フ場合ニ於キマシテハ海員ノ雇入契約ガ終了スルト云フコトガ一應ゴザイマス、其ノ場合ハ結局船ガ滅失、又ハ沈没シタ時、ソレカラ全ク運行ニ堪ヘザルニ至ツタ時、斯ウ云フ風ニナツテ居リマシテ、全ク運行ニ堪ヘザルニ至リマシタ時ト云フコトハ船員法ノ建前カラ致シマシテ日本船舶トシテ運行ニ堪ヘナクナツタ時、ト云フ解釋ハ當然デゴザイマスカラ、若シ拿捕サレテ其ノ儘ノ状態ニ居ル、或ハ向フノ國籍ニ移サレルト云フ風ナコトガゴザイマスレバ、當然其ノ海員ノ雇入契約ト云フモノハ終了スルト、斯ウ云フ風ニ私達ハ解釋ヲ致シテ居ル次第デアリマス、ソレカラ又船員ノ不足ニ付キマシテ、其ノ原因ガ何處ニアルノカト云フコトニ關聯致シマシテ、或ハ應召サレタ者ガ船員ノ中カラ相當出テ居ルノデハナイカシラ、其ノ數ハドノ位ニ上ルノデアルカト云フ風ナ御質

問ノヤウニモ承リマシタガ、此ノ應召サレタ數ガ具體的ニドノ位デアアルカト云フコトハチヨット申上テ兼ル次第デゴザイマスルガ、唯大勢ト致シマシテハ船員ノ中カラ應召サレタ者ハ相當多數アルト云フ風ナ實情デゴザイマス、尙船員ガ不足致シテ居リマスルコトハ、此ノ應召ノ關係モ相當ノ大キナ原因ニナツテ居ルト思ヒマスルガ、其ノ外ニ船ガ急激ニ殖エテ參リマシテ、ソレニ相應スル船員ノ調達ガ比較的困難デアアルト云フ風ナコトト、ソレカラモウツハ陸上産業ガ非常ニ殷賑ニナツテ參リマシタ關係カラ致シマシテ、船員デ陸上ノ方ノ産業ニ移ル者ガ相當澤山出テ參ツタト云フ風ナコトモ、寧ロ此ノ方ガ非常ノ大キナ原因ヲ成シテ居ルノデハナイカシラスト斯ウ云フ風ニ考ヘラレノデアリマス、ソレカラ今一點、揚子江アタリヲ航行シテ居ル船ガ、所謂平水區域ヲ航行シテ居ルト云フコトカラ致シマシテ、此ノ船員保險ノ適用カラ、サウ云フ船ニ乗ツテ居ル船員ハ除カレノデアナイカシラト云フコトノヤウデゴザイマスガ、平水區域ハ大體ニ於キマシテ河川、港灣ト云フ風ナモノニ一應限定サレテ居リマス關係カラ致シマシテ、揚子江ト云フモノハ其ノ沿岸ノミヲ航行致シテ居リマスルモノハ、所謂平水區域ト見テ差支ナイノデアナイカシラスト思ヒマスガ、ソレカラ先ハ出ルノハ、是ハ勿論平水區域ノミヲ歩イテ居ル船デハナイノデアリマシテ、其ノ船ニ乗組ンデ居リマス船員ハ、當然船員法ノ適用ヲ受ケル、從ツテ船員保險法ノ適用ヲ受ケルト云フ風ナ私ハ解釋ヲ採ツテ居リマス

○委員長(侯爵大隈信常君) 遞信省カラオイデニナツテ居リマスカラ、何カ外ニ御質問アリマシタラ此ノ場合ニ……

○大橋八郎君 只今ノ御説明ノ中ニアリマシタ長江ダケヲ航行シテ居ル船ハ、此ノ船員保險ノ適用ヲ受ケルト云フ御説明デアリマシタデセウカ、受ケナイト云フ御説明デアツカノデアリマセウカ、チヨット聽キ取レナカッタノデスガ……

○説明員(米田富士雄君) 御答ヘ致シマス、長江ノミヲ航行シテ居ル船、從ヒマシテ長江カラ出ナイ船ハ、是ハ受ケナイト云フ風ニ解釋致シテ居リマス

○大橋八郎君 實質ニ於テ、長江ダケヲ航行シテ居ル船デモ、相當大キナ船ガ浮イテ居ル譯デ、普通日本ノ川ヤ湖水ヲ航行シテ居ルノト大分違フヤウニ思フノデアリマスガ、實際問題トシテハ……、殊ニ支那ノ方ニ行ツテ隨分苦勞ヲシテ居ル船員ヲ、唯河川ヲ航行スルノダカラト云フ理由ダケデ除外シテシマウト云フ事柄ハドウカト思ヒマスガ、其ノ解釋トシテ言フナラバサウ云フ解釋ニ決ツテ居ルダラウト思ヒマスガ、少シ船員保險特別會計ノ論議カラ脱出スルカモ知レマセヌガ、根本ニ被保險者ニシナイト云フ考ヘ方ガドウデセウカ、果シテ宜イノガドウカ、事柄トシテハ常識的ニ考ヘマシテモ例ヘバ瀬戸内ダケヲ航行シテ居ル船ヨリモ、餘程保護シテヤラナケレバナラスト云フ建前デアナイカト考ヘラレノデスガ、特ニ除外サレテ差支ナイモノカ、船舶行政ト云フカ、海員ニ對スル行政ノ建前トシテデスネ

○説明員(米田富士雄君) 船員保險ノ方ノコトニ付キマシテハ、厚生省ノ方カラ御説明ガゴザイマス存ジマスガ、船員ノ保護ヲ平水區域ノミデ止メテ居ルカラ、ソレダケニ限ラレコトハ少シドウカト云フ御質問ノヤウデゴザイマシタガ、御説明尤モデゴザイマシテ、實ハマア一ツノ例ヲ申上テマスト、船舶職員ニナリマスル場合ニハ、一定ノ乗船履歴ト云フモノガ、必要ニナツテ居リマシテ、其ノ乗船履歴ハ平水區域ノ者ハ認メナイト云フ風ナコトニナツテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ者ニ付キマシテハ、揚子江沿岸ヲ航行シテ居ル者、殊ニ是ハ大體職員デゴザイマスカラ、日本人ニ限ラレル譯デゴザイマスガ、サウ云フ者ハ内地ニ居リマス時分ニハ、相當平水區域ヲ出テ航海ニ從事シテ居ル者共デゴザイマスカラシテ、特ニサウ云フ者ニ付キマシテハ、其ノ乗船履歴ノ中ニ、揚子江ヲ航行シテ居ル乗船履歴ヲ認メテ居ルト云フ風ナ手段ヲ講ジテ、平水區域カラ起ル不利益ト申シマスガ、サウ云フモノモ實情ニ即シテ許セルダケ少クシタイト云フ風ニ取扱ツテ居リマス

○大橋八郎君 サウ致シマス、揚子江ノミヲ航行シテ居ル船ニ乗ツテ居ル、船舶職員デモ、或者ニ付テハ矢張り適用ヲ受ケルノガ、斯ウ云フ御趣旨デゴザイマスガ

○説明員(米田富士雄君) 職員法ノ建前ト致シマシテハ、内地ニ付キマシテハ斯ウ云フ所ヲ通ルモノハ受驗履歴ニ加算シナイト云フ風ニ致シテ居リマシテ、ソレハ告示デ以テ色々取扱ツテ居ル、今度ノ事變ナンカデ非常ニソチラノ方ニ行ツテ居ル者モゴザイマスノデ、特ニ其ノ點ヲ考ヘ合セマシテ、ソレヲ受驗履歴ニ加算シロ、平水區域デアアルガ、受驗履歴ニ加算スルト斯ウ云フ風ニ取扱ツテ居リマス

○大橋八郎君 只今ノ御説明デスト、揚子江ヲ航行シテ居ル船ニ乗組ンデ居ル船員ハ、平水航路ナルガ故ニ原則トシテハ此ノ船員保險ノ適用ハ受ケナイノダ、但シ其ノ中ノ或ル者ニ付テハ、何カ外ノ規定ノ結果、適用ヲ受ケル者モアルト斯ウ云フ風ニ聽キ取ツタノデスガ、ソレデ宜シイノデスガ

○説明員(米田富士雄君) 少シ私ノ申上テ方ガ足ラナカッタカモ知レマセヌガ、船員保險ノコトニ實ハ關聯シテ申上テタノデアリマシテ、平水區域ノミヲ航行シテ居ル船員ニ付テモ、ドウ云フ風ニソレヲマア取扱ツテ居ルカ、或ハ平水區域ダケデハ不利益ナ點ヲドウ云フ風ニ救済シテ居ルカト云フコトノ一ツノ例ト致シマシテ、船舶職員法關係ノ例ヲ申上テガヤウナ次第ノデアリマス

○政府委員(侯爵基君) 船員保險法ト致シマシテハ船員法ノ船員ダケヲ之ニ入レルト云フ建前ニナツテ居リマス、ソレデ今御話ノ揚子江ノミヲ通ツテ居ル船ニ乗ツテ居ル所ノ船員ガ船員法上ノ船員ニナルカドウカト云フ問題ナンデス、其ノ船員法ノ第一條ニ依リマス「平水區域ヲ航行スル船舶」サウ云フ船舶ニ乗ツテ居ル船員ハ、船員ニナラナイノデアリマス、ソゴデ揚子江ハ平水區域デアアルカラ揚子江ノミヲ通ツテ居ル船舶ニ乗組ンデ居ル船員ハ、船員法上ノ船員ニナラナイ、從ツテ船員法ノ方カラ言ヘバ被保險者ニハナラスト云フコトデス、問題ハ其ノ保護ノ關係カラ申シマス、平水區域ト云フモノヲ決メルニ付テ、是ハ船舶安全法ノ施行規則ニ依ツテ決ツテ居リマスガ、平水區域ハ湖川、港内、其ノ他命令デ決メタ區域デアリマスガ、ソレヲ平水區域トスル、詰リ平水區域ト云フハ湖川、港内……揚子江ハ一ツノ河デアアルカラ平水區域ニナル、平水區域ヲ決メルノニ、揚子江ハ大キイ河デア

ケニ限ラレコトハ少シドウカト云フ御質問アリマシタラ此ノ場合ニ……

○大橋八郎君 只今ノ御説明ノ中ニアリマシタ長江ダケヲ航行シテ居ル船ハ、此ノ船員保險ノ適用ヲ受ケルト云フ御説明デアリマシタデセウカ、受ケナイト云フ御説明デアツカノデアリマセウカ、チヨット聽キ取レナカッタノデスガ……

○説明員(米田富士雄君) 御答ヘ致シマス、長江ノミヲ航行シテ居ル船、從ヒマシテ長江カラ出ナイ船ハ、是ハ受ケナイト云フ風ニ解釋致シテ居リマス

○大橋八郎君 實質ニ於テ、長江ダケヲ航行シテ居ル船デモ、相當大キナ船ガ浮イテ居ル譯デ、普通日本ノ川ヤ湖水ヲ航行シテ居ルノト大分違フヤウニ思フノデアリマスガ、實際問題トシテハ……、殊ニ支那ノ方ニ行ツテ隨分苦勞ヲシテ居ル船員ヲ、唯河川ヲ航行スルノダカラト云フ理由ダケデ除外シテシマウト云フ事柄ハドウカト思ヒマスガ、其ノ解釋トシテ言フナラバサウ云フ解釋ニ決ツテ居ルダラウト思ヒマスガ、少シ船員保險特別會計ノ論議カラ脱出スルカモ知レマセヌガ、根本ニ被保險者ニシナイト云フ考ヘ方ガドウデセウカ、果シテ宜イノガドウカ、事柄トシテハ常識的ニ考ヘマシテモ例ヘバ瀬戸内ダケヲ航行シテ居ル船ヨリモ、餘程保護シテヤラナケレバナラスト云フ建前デアナイカト考ヘラレノデスガ、特ニ除外サレテ差支ナイモノカ、船舶行政ト云フカ、海員ニ對スル行政ノ建前トシテデスネ

○説明員(米田富士雄君) 船員保險ノ方ノコトニ付キマシテハ、厚生省ノ方カラ御説明ガゴザイマス存ジマスガ、船員ノ保護ヲ平水區域ノミデ止メテ居ルカラ、ソレダケニ限ラレコトハ少シドウカト云フ御質問ノヤウデゴザイマシタガ、御説明尤モデゴザイマシテ、實ハマア一ツノ例ヲ申上テマスト、船舶職員ニナリマスル場合ニハ、一定ノ乗船履歴ト云フモノガ、必要ニナツテ居リマシテ、其ノ乗船履歴ハ平水區域ノ者ハ認メナイト云フ風ナコトニナツテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ者ニ付キマシテハ、揚子江沿岸ヲ航行シテ居ル者、殊ニ是ハ大體職員デゴザイマスカラ、日本人ニ限ラレル譯デゴザイマスガ、サウ云フ者ハ内地ニ居リマス時分ニハ、相當平水區域ヲ出テ航海ニ從事シテ居ル者共デゴザイマスカラシテ、特ニサウ云フ者ニ付キマシテハ、其ノ乗船履歴ノ中ニ、揚子江ヲ航行シテ居ル乗船履歴ヲ認メテ居ルト云フ風ナ手段ヲ講ジテ、平水區域カラ起ル不利益ト申シマスガ、サウ云フモノモ實情ニ即シテ許セルダケ少クシタイト云フ風ニ取扱ツテ居リマス

○大橋八郎君 サウ致シマス、揚子江ノミヲ航行シテ居ル船ニ乗ツテ居ル、船舶職員デモ、或者ニ付テハ矢張り適用ヲ受ケルノガ、斯ウ云フ御趣旨デゴザイマスガ

○説明員(米田富士雄君) 職員法ノ建前ト致シマシテハ、内地ニ付キマシテハ斯ウ云フ所ヲ通ルモノハ受驗履歴ニ加算シナイト云フ風ニ致シテ居リマシテ、ソレハ告示デ以テ色々取扱ツテ居ル、今度ノ事變ナンカデ非常ニソチラノ方ニ行ツテ居ル者モゴザイマスノデ、特ニ其ノ點ヲ考ヘ合セマシテ、ソレヲ受驗履歴ニ加算シロ、平水區域デアアルガ、受驗履歴ニ加算スルト斯ウ云フ風ニ取扱ツテ居リマス

○大橋八郎君 只今ノ御説明デスト、揚子江ヲ航行シテ居ル船ニ乗組ンデ居ル船員ハ、平水航路ナルガ故ニ原則トシテハ此ノ船員保險ノ適用ハ受ケナイノダ、但シ其ノ中ノ或ル者ニ付テハ、何カ外ノ規定ノ結果、適用ヲ受ケル者モアルト斯ウ云フ風ニ聽キ取ツタノデスガ、ソレデ宜シイノデスガ

○説明員(米田富士雄君) 少シ私ノ申上テ方ガ足ラナカッタカモ知レマセヌガ、船員保險ノコトニ實ハ關聯シテ申上テタノデアリマシテ、平水區域ノミヲ航行シテ居ル船員ニ付テモ、ドウ云フ風ニソレヲマア取扱ツテ居ルカ、或ハ平水區域ダケデハ不利益ナ點ヲドウ云フ風ニ救済シテ居ルカト云フコトノ一ツノ例ト致シマシテ、船舶職員法關係ノ例ヲ申上テガヤウナ次第ノデアリマス

○政府委員(侯爵基君) 船員保險法ト致シマシテハ船員法ノ船員ダケヲ之ニ入レルト云フ建前ニナツテ居リマス、ソレデ今御話ノ揚子江ノミヲ通ツテ居ル船ニ乗ツテ居ル所ノ船員ガ船員法上ノ船員ニナルカドウカト云フ問題ナンデス、其ノ船員法ノ第一條ニ依リマス「平水區域ヲ航行スル船舶」サウ云フ船舶ニ乗ツテ居ル船員ハ、船員ニナラナイノデアリマス、ソゴデ揚子江ハ平水區域デアアルカラ揚子江ノミヲ通ツテ居ル船舶ニ乗組ンデ居ル船員ハ、船員法上ノ船員ニナラナイ、從ツテ船員法ノ方カラ言ヘバ被保險者ニハナラスト云フコトデス、問題ハ其ノ保護ノ關係カラ申シマス、平水區域ト云フモノヲ決メルニ付テ、是ハ船舶安全法ノ施行規則ニ依ツテ決ツテ居リマスガ、平水區域ハ湖川、港内、其ノ他命令デ決メタ區域デアリマスガ、ソレヲ平水區域トスル、詰リ平水區域ト云フハ湖川、港内……揚子江ハ一ツノ河デアアルカラ平水區域ニナル、平水區域ヲ決メルノニ、揚子江ハ大キイ河デア

ケニ限ラレコトハ少シドウカト云フ御質問アリマシタラ此ノ場合ニ……

○大橋八郎君 只今ノ御説明ノ中ニアリマシタ長江ダケヲ航行シテ居ル船ハ、此ノ船員保險ノ適用ヲ受ケルト云フ御説明デアリマシタデセウカ、受ケナイト云フ御説明デアツカノデアリマセウカ、チヨット聽キ取レナカッタノデスガ……

○説明員(米田富士雄君) 御答ヘ致シマス、長江ノミヲ航行シテ居ル船、從ヒマシテ長江カラ出ナイ船ハ、是ハ受ケナイト云フ風ニ解釋致シテ居リマス

○大橋八郎君 實質ニ於テ、長江ダケヲ航行シテ居ル船デモ、相當大キナ船ガ浮イテ居ル譯デ、普通日本ノ川ヤ湖水ヲ航行シテ居ルノト大分違フヤウニ思フノデアリマスガ、實際問題トシテハ……、殊ニ支那ノ方ニ行ツテ隨分苦勞ヲシテ居ル船員ヲ、唯河川ヲ航行スルノダカラト云フ理由ダケデ除外シテシマウト云フ事柄ハドウカト思ヒマスガ、其ノ解釋トシテ言フナラバサウ云フ解釋ニ決ツテ居ルダラウト思ヒマスガ、少シ船員保險特別會計ノ論議カラ脱出スルカモ知レマセヌガ、根本ニ被保險者ニシナイト云フ考ヘ方ガドウデセウカ、果シテ宜イノガドウカ、事柄トシテハ常識的ニ考ヘマシテモ例ヘバ瀬戸内ダケヲ航行シテ居ル船ヨリモ、餘程保護シテヤラナケレバナラスト云フ建前デアナイカト考ヘラレノデスガ、特ニ除外サレテ差支ナイモノカ、船舶行政ト云フカ、海員ニ對スル行政ノ建前トシテデスネ

○説明員(米田富士雄君) 船員保險ノ方ノコトニ付キマシテハ、厚生省ノ方カラ御説明ガゴザイマス存ジマスガ、船員ノ保護ヲ平水區域ノミデ止メテ居ルカラ、ソレダケニ限ラレコトハ少シドウカト云フ御質問ノヤウデゴザイマシタガ、御説明尤モデゴザイマシテ、實ハマア一ツノ例ヲ申上テマスト、船舶職員ニナリマスル場合ニハ、一定ノ乗船履歴ト云フモノガ、必要ニナツテ居リマシテ、其ノ乗船履歴ハ平水區域ノ者ハ認メナイト云フ風ナコトニナツテ居ルノデアリマスガ、サウ云フ者ニ付キマシテハ、揚子江沿岸ヲ航行シテ居ル者、殊ニ是ハ大體職員デゴザイマスカラ、日本人ニ限ラレル譯デゴザイマスガ、サウ云フ者ハ内地ニ居リマス時分ニハ、相當平水區域ヲ出テ航海ニ從事シテ居ル者共デゴザイマスカラシテ、特ニサウ云フ者ニ付キマシテハ、其ノ乗船履歴ノ中ニ、揚子江ヲ航行シテ居ル乗船履歴ヲ認メテ居ルト云フ風ナ手段ヲ講ジテ、平水區域カラ起ル不利益ト申シマスガ、サウ云フモノモ實情ニ即シテ許セルダケ少クシタイト云フ風ニ取扱ツテ居リマス

○大橋八郎君 サウ致シマス、揚子江ノミヲ航行シテ居ル船ニ乗ツテ居ル、船舶職員デモ、或者ニ付テハ矢張り適用ヲ受ケルノガ、斯ウ云フ御趣旨デゴザイマスガ

○説明員(米田富士雄君) 職員法ノ建前ト致シマシテハ、内地ニ付キマシテハ斯ウ云フ所ヲ通ルモノハ受驗履歴ニ加算シナイト云フ風ニ致シテ居リマシテ、ソレハ告示デ以テ色々取扱ツテ居ル、今度ノ事變ナンカデ非常ニソチラノ方ニ行ツテ居ル者モゴザイマスノデ、特ニ其ノ點ヲ考ヘ合セマシテ、ソレヲ受驗履歴ニ加算シロ、平水區域デアアルガ、受驗履歴ニ加算スルト斯ウ云フ風ニ取扱ツテ居リマス

○大橋八郎君 只今ノ御説明デスト、揚子江ヲ航行シテ居ル船ニ乗組ンデ居ル船員ハ、平水航路ナルガ故ニ原則トシテハ此ノ船員保險ノ適用ハ受ケナイノダ、但シ其ノ中ノ或ル者ニ付テハ、何カ外ノ規定ノ結果、適用ヲ受ケル者モアルト斯ウ云フ風ニ聽キ取ツタノデスガ、ソレデ宜シイノデスガ

ルカラ、瀬戸内海ト比較シテ平水區域トスルノハ宜イカ悪イカト云フコトハ、立法論トシテハ、平水區域ダト云フコトニナルト、船員法ニ於テハ船主ニ於テ船員法上ノ扶助義務ヲ免ルト云フコトニナル、又船員ヲ保護スルト云フコトニナレバ、當然是ハ船員保險法ニ依リマシテモ被保險者ニナルト云フコトニナル譯デアリマス、問題ハ平水區域ト云フコトヲ決メル船舶安全法ノ決メ方ノ問題ニナツテ來ル譯デス、殊ニ保險ト云フモノハ、矢張り船員ノ一ツノ保護施設デアリマスカラシテ、從來ノ認メラレタ船員法ト云フ保護法規、ソレトノ關聯モアリマスカラシテ、船員法デハ船員トシテ保護シナイ、傭主、即チ船主ノ扶助責任ヲ認メナイ、サウ云フモノデアアルニモ拘ラス、船員保險ガソレヨリ上ヲ行クト云フコトハドウカト思ハレマス、又船員保險ノ見地カラ申シマスルト、被保險者ハ法律デ強制スルノデアリマスカラ、範圍ヲ明確ニシナケレバナラス、サウ云フ二ツノ條件カラ致シマシテ、船員法上ノ船員ダケヲ船員保險法ノ被保險者トシテ保險ノ恩典ヲ與ヘルト云フコトニシテ居ルノデアリマス

○大橋八郎君 只今ノ御説明デヨク了解致シマシタガ、此ノ船員保險ノ第十七條ノ規定其ノモノノ解釋ハ御説明ノ通り、ハッキリ致シテ居ルト思ヒマス、唯此ノ被保險者ノ範圍ヲ決メル場合ニ船員法第一條ニ規定シテ居ル船員ダケニ限ラレルコトガ宜イカ、ドウカ、保險ノ見地カラ見テ宜イカ悪イカト云フコトデ寧ロ論議スベキダハナイカト思ヒマス、或ハ船員法ノ第一條ヲ決メル場合ニハ別ノ見地カラ或一ツノ目的ノ爲ニ船員ノ範圍ト云フモノヲ決メタノデアリマス、

其ノ或ル他ノ目的ノ爲ニ決メタ範圍ヲ、何處迄モ固守シテ所謂船員ノ保護ヲスル場合ニモ、其ノ範圍外ノモノハ保護シナイト云フコトヲ直チニ決メテシマウノハ、少シドウカト思ハレルノデスガ、要スルニ船員保險法ト云フ勞働立法ヲスル場合ニ、船員法第一條ノ船員ノ範圍ニ限ラナケレバナラスト云フ前提ヲ決メテシマフノハ少シ考ガ狭イノデヤナイカト云フ氣モスルノデアリマス、其ノ點ニ關シテ今ノ勞働立法ノ立場カラサウ狭ク限ルコトガ宜イカ、悪イカト云フ實ハ疑問ヲ持ツテ伺ツテ居ルノデス

○政府委員(佐藤基君) 其ノ點ハ今申上ゲマシタ通り此ノ保險ト云フモノガ強制制度デアル、ソコデ被保險者ノ範圍ヲ限定シナケレバナラス、如何ナル方法ニ依テ限定スルカト云フコトカラ考ヘテモ、船員法ト云フモノノ範圍ニ限ルト云フコトガ一ツノ理由ニナルモノダト考ヘマス、ソレヲ船員法デヤツテ居ルカラシテ、他ノ目的デヤツテ居ルカ、ドウカ知ラスケレドモ、ソレヲ偶然ニ船員法デヤツテ居ルカラ、ソレニ保險カ據ラナケレバナラヌ理由ハ勿論ナイ譯デアリマス、併シナガラ船員法ヲヤツテ居ルノハ事業主ノ義務トシテ、扶助スベキ場合ニ限ツテ居ルノデアツテ、其ノ業務上ノ關係ニ於テハ其ノ範圍ダケ、其ノ範圍ヲ事業主ノ負擔トシテヤツテ行ケバ宜イト云フコトニナツテ居ル、其ノ船員法ト船員保險法トノ關係ハ現在ノ工場法ナリ、鑛業法ナリト健康保險法トノ關係ニ於テモ同ジデアリマシテ、業務上ノ關係ニ於テハ事業主ノ負擔ニ於テ、事業主ノ責任ニ於テ扶助スベキ範圍ト云フモノヲ標準トシテ、健康保險法ノ扶助ノ範圍ヲ決メテ居ル譯デアリマス、其ノ點ハ大體陸上勞働者、海上勞働

者ガ同ジヤウナ方針デ船員ノ範圍ヲ決メテ居ル譯デアリマス  
○子爵松平忠壽君 只今ノ御答辯デ正確ナル數字ハ言フコトハ出來ナイ、是ハマア御尤モト思ヒマスガ、炭鑛ノ鑛夫ナンカモ大體概數約三萬位應召サレテ居ルト云フコトヲ承知シテ居リマス、概數位ハ此ノ位ト云フ位ハ話ガ出來ナイモノデセウカ、ソレヲ伺ヒタイ

○說明員(米田富士雄君) 是ハ實ハ甚ダ御叱リヲ受ケルカモ知レマセヌガ、正直ナ所ヲ申上ゲマス、私ノ手許デ何人應召サレテ居ルカト云フコトガハッキリシタ數字ヲチヨット調べルコトガ出來ナイノデアリマス、ソレデ大體ノ見込ヲ一應立テテ、マア此ノ位ダラウト云フコトデ私ノ方デヤツテ居ルノデゴザイマス、ソレモ餘リ申上ゲテ宜イカ知ラヌト云フヤウニ……

○委員長(侯爵大隈信常君) 速記停止  
〔速記中止〕  
○委員長(侯爵大隈信常君) 速記開始、外ニ御質問ハゴザイマセヌカ  
○大橋八郎君 序ニモウ一ツ遞信省ノ方ニ伺ツテ置キタイト思ヒマスガ、南洋ト樺太ニハ船籍港ヲ持ツテ居ル大キナ船ハナイノデゴザイマスカ、事實ニ於テ……ソレトモ相當ノ船ハ、何千トント云フ船ハ樺太ナリ南洋ナリ船籍港ヲ持ツテ居ルモノガアリマスカ

○說明員(米田富士雄君) 大體樺太ニハ、二千トント以上ノ船デ船籍港ヲ置イテアル船ハゴザイマセヌ、南洋ニモ同ジデゴザイマス  
○委員長(侯爵大隈信常君) 別ニ御質問ハゴザイマセヌカ、ゴザイマセヌト認メマス、

然ラバ此ノ兩法案ノ討議ニ入りタイト思ヒマスガ、御議論ノアル方ハ一ツ御述ヲ願ヒタウゴザイマス  
○子爵秋元春朝君 私ハ本兩法案ニ對シマシテ贊成ノ意ヲ表シタイト思フノデアリマスガ、二三希望ヲ申上ゲテ贊成シタイト思ヒマス、第一ノ希望ト致シマシテハ、特別會計ト云フモノガ一時非常ニ澤山アツテ困ツテ居ッタノデスガ、ソレガ愈々整理セラレテ、一時ハ確カ七十ニモ餘ルト思ツテ居リマシタガ、是ガ約四十迄ニ減ルヤウニナリマシテ、非常ニ良イ傾向ダト思ツテ居ッタノデスガ、本年モ一年ニシテ七ツモ餘計殖エルト云フヤウナ傾向ガ出テ來タ、是ハ誠ニ私共已ムヲ得ナイ結果デ斯ウ云フコトガ出テ來ルト思ヒマスガ、將來ニドウカ成ルベク特別會計ト云フモノガ少クシテ、成ベク此ノ一般會計ガ即チ國家ノ財政ノ全部ヲ示スモノダト云フ風ニナルコトヲ第一ニ希望致シマス、ソレカラ第二ニハ、今回ノ保險法ガ内地ノミナラス、外地ニ迄之ヲ實施サレルコトニナツテ居ルコトニ付キマシテ、國庫ガ或部分ダケノ分擔ヲスルト云フコトカラシテ、ナカノヤ、コシイ會計ノヤリ方組織ガ出來マシタノデ、分擔金トカ、又關係事項又ハ交渉事項ト非常ニヤ、コシクナツテ居リマスガ是ナドモドウカ此ノ次ニ又色々ナ保險事業ノミナラス、又其ノ他ノ事業ニ付キマシテモ、内地外地ヲ通ジテノ會計ガ澤山出來ルダラウト存ジマスガ、ドウカ一ツ此ノ際ニハ極ク簡易ナ取扱ガ出來ルヤウニ、十分ノ御考慮ト御研究トヲ願ツテ置キタイト思フ、是ガ第二ノ問題デアリマス、ソレカラ第三ニハ、今度保險法ガ實施サレマスシ、ソレニ依ツテ受ケル所ノ恩惠者ハ、

相當ナ恩惠ヲ受ケルノデアリマスガ、既ニ此ノ法實施前ト雖モ各多數ノ船ヲ持ッテ居リマスル大會社、又ハ一艘ニ艘等ヲ持ッテ居リマス大キナ船ノ船主ニ於テハ、既ニ負傷トカ疾病トカ、色々ナコトニ付テモ保險ノ制度ニ類似シタ組合法ヲヤッテ居リマスガ、是ハマア船主ガ皆之ヲ負擔シテ居ルノデアリマスガ、此ノ法ガ又實施サレマス同時ニ、二重ニ船主ハ負擔ノ増加ヲ覺悟シナクチャナラスト云フヤウナ、事實ハサウハナリマスケレドモガ……ト云フヤウナ心配モアルノデアリマスカラシテ、此ノ法ガ實施サレマスレバ、無論今迄ニ於テヨリカ、ヨリ良イ是ハ優遇方法ダト思ヒマスガ、其ノ點ノ所ハ二重ニ重複ニナラナイヤウニ、船主ナドモ安心シテ此ノ法ニ依リ、船員共ガ又恩惠ヲ受ケルト云フ風ニ、圓滿ニ行クヤウナコトヲ十分ニ御努力アラムコトヲ切望シテ已ミマセヌ、此ノ三點ヲ希望トシテ申述ベ、本案ニ贊成ヲ表スル次第デアリマス

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○委員長(侯爵大隈信常君) ソレデハ可決シタコトニ確定シマス、之ヲ以テ散會致シマス

午後三時三十六分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵大隈 信常君

副委員長 子爵秋元 春朝君

委員

公爵桂 廣太郎君

伯爵德川 宗敬君

政府委員

大藏參與官 松田 正一君

大藏書記官 前田 克巳君

同 湯地謹爾郎君

保險院長官 進藤 誠一君

保險院總務局長 佐藤 基君

保險院社會保險局長 清水 玄君

説明員

遞信書記官 米田富士雄君

子爵松平 忠壽君

子爵上原七之助君

宇佐美勝夫君

田口 弼一君

男爵渡邊 汀君

大橋 八郎君

男爵近藤 滋彌君

男爵深尾隆太郎君

栗林 徳一君

昭和十五年三月十三日印刷

昭和十五年三月十三日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局